

【集計結果】

薬局を対象とした地域包括ケア推進に関する調査

対象 県北地域の薬剤師会に加入している242薬局

(福島160、伊達40、二本松42)

調査期間 平成28年8月25日(木)～9月23日(火)

回答数 188

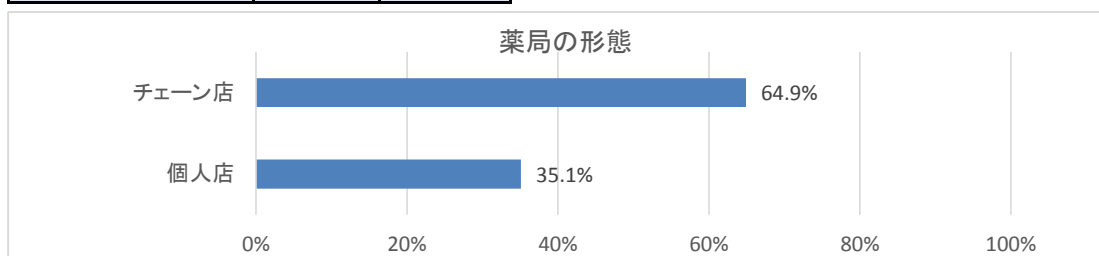
回答率 77.7%

	対象	回答	割合
福島地域	160	125	78.1%
二本松地域	42	31	73.8%
伊達地域	40	32	80.0%
総計	242	188	77.7%

質問1

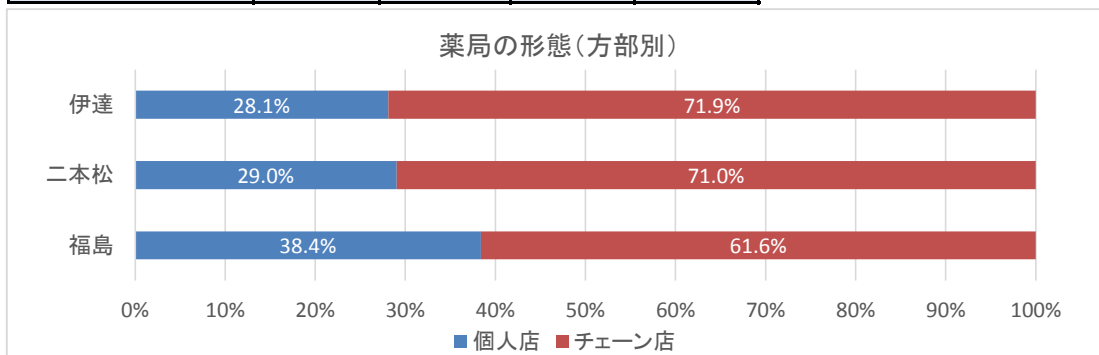
薬局の形態について教えてください。

	回答	割合
個人店	66	35.1%
チェーン店	122	64.9%
総計	188	100.0%



<方部別>

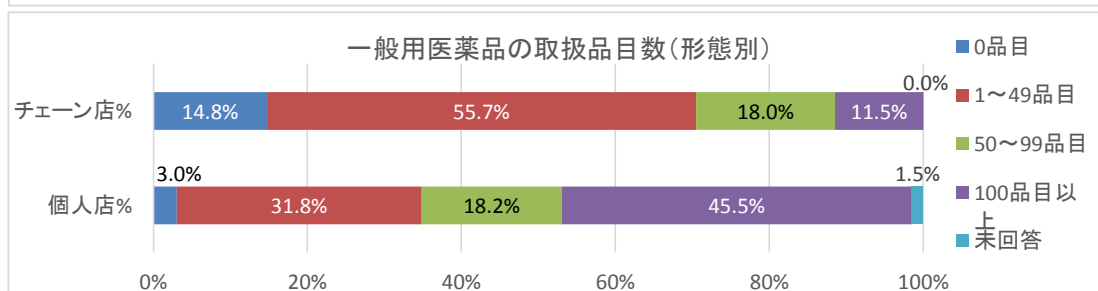
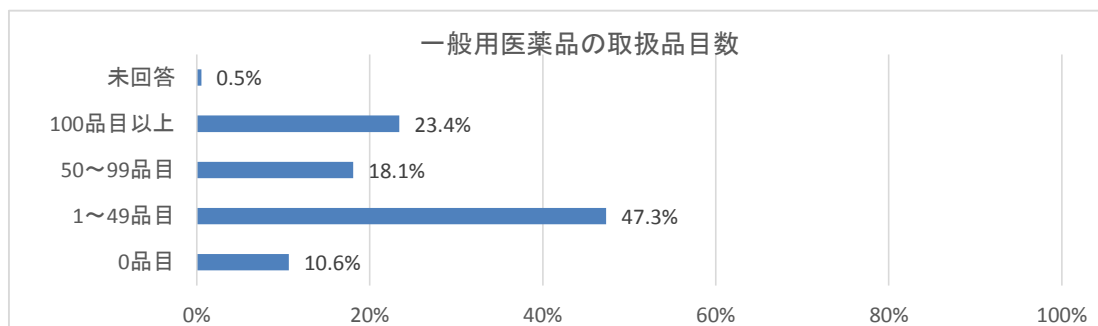
	福島	二本松	伊達	総計
個人店	48	9	9	66
チェーン店	77	22	23	122
総計	125	31	32	188



薬局の形態は、「個人店」が35.1%、「チェーン店」が64.9%であった。
方部別にみると、福島方部で「個人店」の割合が38.4%と最も高かった。

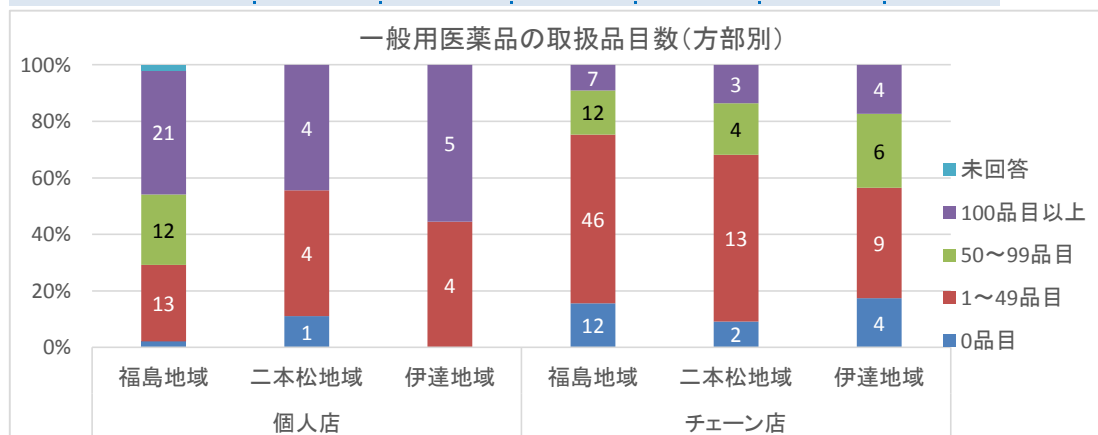
質問2-1 一般用医薬品の取扱品目数を教えてください。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
0品目	2	3.0%	18	14.8%	20	10.6%
1～49品目	21	31.8%	68	55.7%	89	47.3%
50～99品目	12	18.2%	22	18.0%	34	18.1%
100品目以上	30	45.5%	14	11.5%	44	23.4%
未回答	1	1.5%	0	0.0%	1	0.5%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%



<方部別>

	0品目	1～49品目	50～99品目	100品目以上	未回答	総計
個人店	2	21	12	30	1	66
福島地域	1	13	12	21	1	48
二本松地域	1	4		4		9
伊達地域		4		5		9
チェーン店	18	68	22	14		122
福島地域	12	46	12	7		77
二本松地域	2	13	4	3		22
伊達地域	4	9	6	4		23
総計	20	89	34	44	1	188



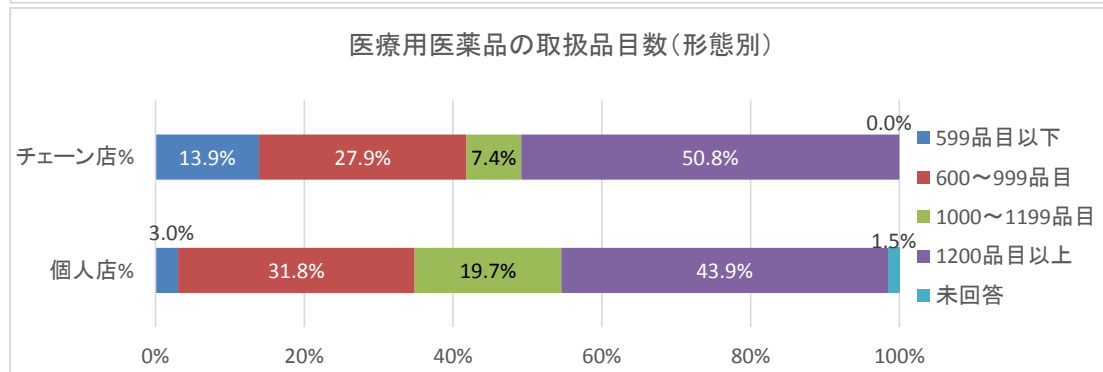
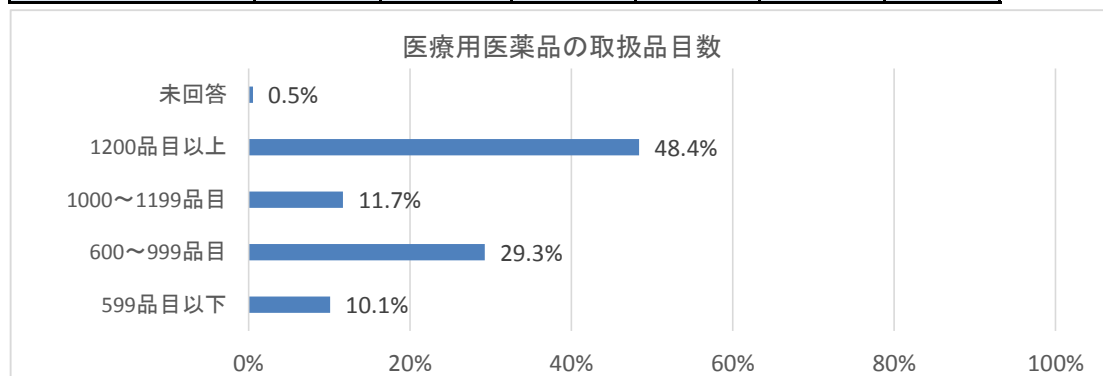
一般用医薬品の取扱品目数については、「1～49品目」と回答した薬局が47.3%と最も多く、次に多いのは「100品目以上」で、23.4%であった。

形態別にみると、個人店では「100品目以上」と回答した薬局の割合が45.5%、次いで「1～49品目」が31.8%であった。一方、チェーン店では「1～49品目」と回答した薬局の割合が55.7%、次いで「50～59品目」が18.0%であった。

方部別にみると、個人店では、伊達方部で「100品目以上」の割合が高く、チェーン店では福島方部で「1～49品目」の割合が高い。

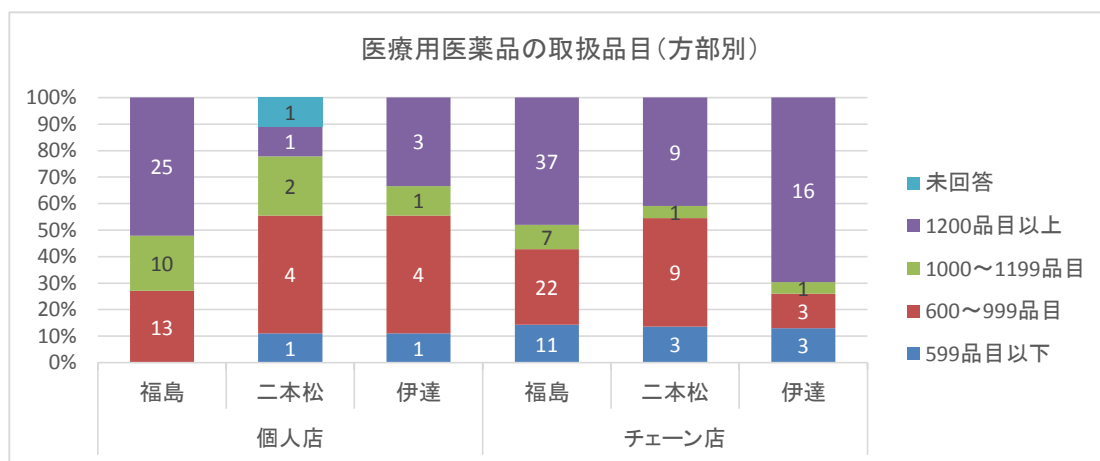
質問2-2 医療用医薬品の取扱品目数を教えてください。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
599品目以下	2	3.0%	17	13.9%	19	10.1%
600～999品目	21	31.8%	34	27.9%	55	29.3%
1000～1199品目	13	19.7%	9	7.4%	22	11.7%
1200品目以上	29	43.9%	62	50.8%	91	48.4%
未回答	1	1.5%	0	0.0%	1	0.5%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%



<方部別>

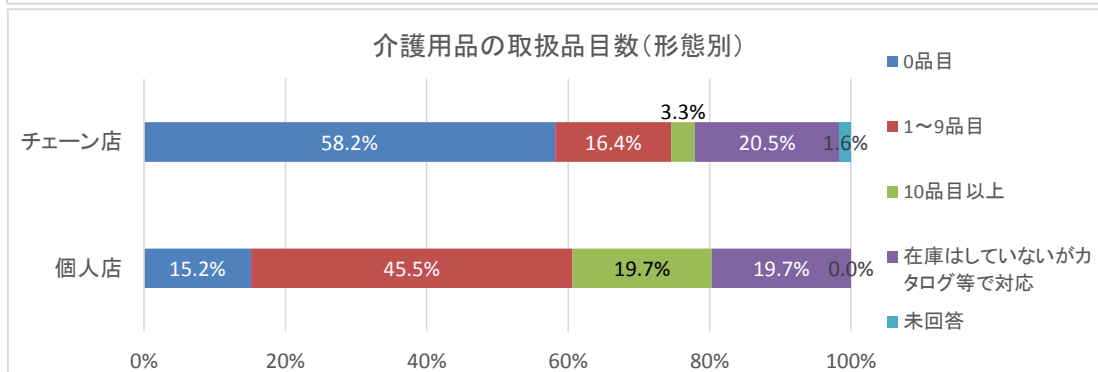
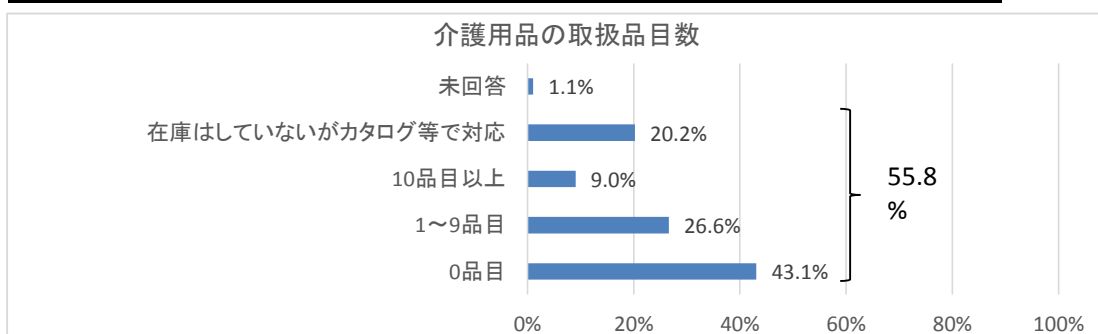
	599品目以下	600～999品目	1000～1199品目	1200品目以上	未回答	総計
個人店	2	21	13	29	1	66
福島		13	10	25		48
二本松	1	4	2	1	1	9
伊達	1	4	1	3		9
チェーン店	17	34	9	62		122
福島	11	22	7	37		77
二本松	3	9	1	9		22
伊達	3	3	1	16		23
総計	19	55	22	91	1	188



医療用医薬品の取扱品目については、「1200品目以上」と回答した薬局が48.4%と最も多く、次いで「600～999品目」が29.3%であった。
 形態別にみると、個人店よりもチェーン店において、「1200品目以上」が多い。「599品目以下」の割合は個人店よりもチェーン店において高い。
 方部別にみると、伊達方部で「1200品目以上」の割合が高い。

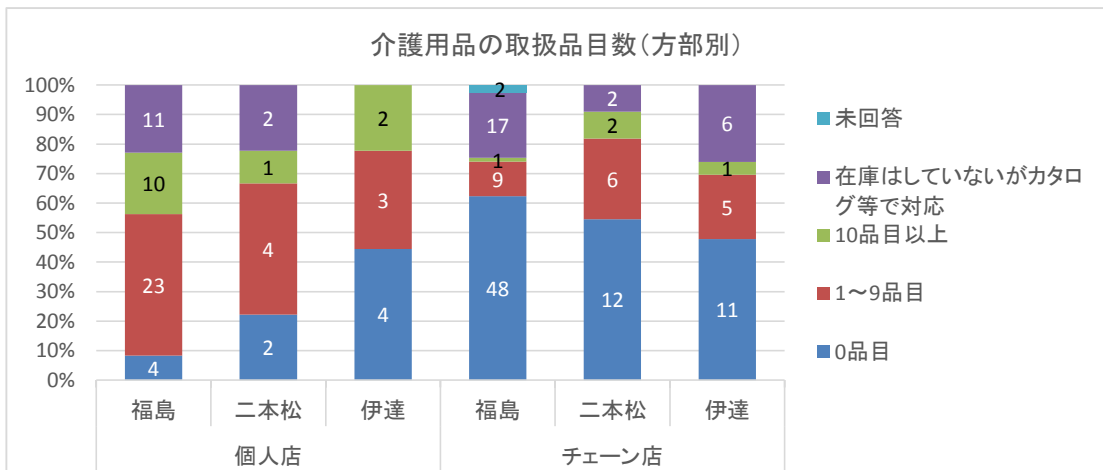
質問3-1 介護用品(おむつ、パッド等)の取扱品目数を教えてください。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
0品目	10	15.2%	71	58.2%	81	43.1%
1～9品目	30	45.5%	20	16.4%	50	26.6%
10品目以上	13	19.7%	4	3.3%	17	9.0%
在庫はしていないがカタログ等で対応	13	19.7%	25	20.5%	38	20.2%
未回答	0	0.0%	2	1.6%	2	1.1%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%



<方部別>

	0品目	1～9品目	10品目以上	在庫はしていないがカタログ等で対応	未回答	総計
個人店	10	30	13	13		66
福島	4	23	10	11		48
二本松	2	4	1	2		9
伊達	4	3	2			9
チェーン店	71	20	4	25	2	122
福島	48	9	1	17	2	77
二本松	12	6	2	2		22
伊達	11	5	1	6		23
総計	81	50	17	38	2	188



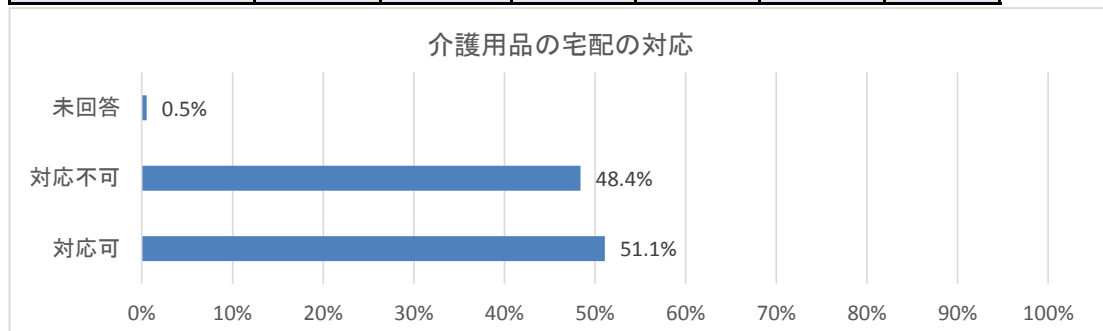
介護用品(おむつ、パット等)の取扱品目については、「1～9品目」が26.6%、次いで「在庫はしていないがカタログ等で対応が可能である」と回答した薬局が20.2%であった。全体の約半数が、何らかの形で介護用品の取扱いを行っていることがわかった。

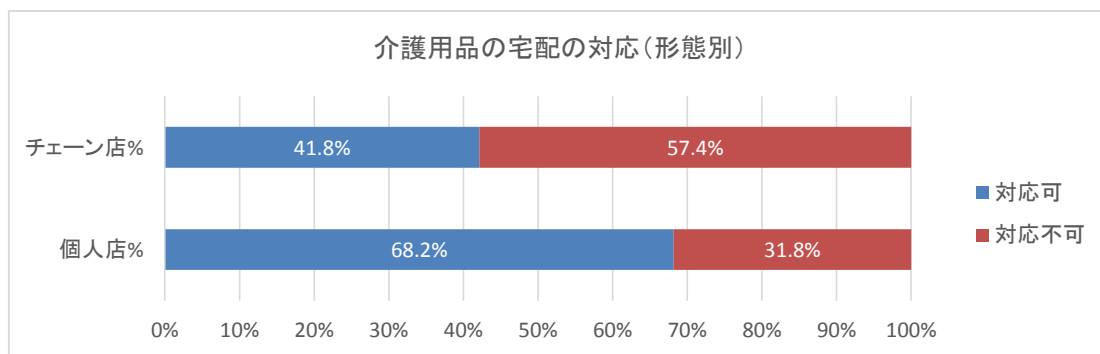
形態別にみると、「0品目」と回答した割合について、チェーン店では58.2%であるのに対し、個人店では15.2%であり、チェーン店のほうが介護用品の取扱いを行っている薬局の割合が低い。

方部別にみると、福島方部の個人店で介護用品の取扱いを行っている薬局の割合が高い。

質問3-2 介護用品(おむつ、パッド等)について、宅配の対応について教えてください。

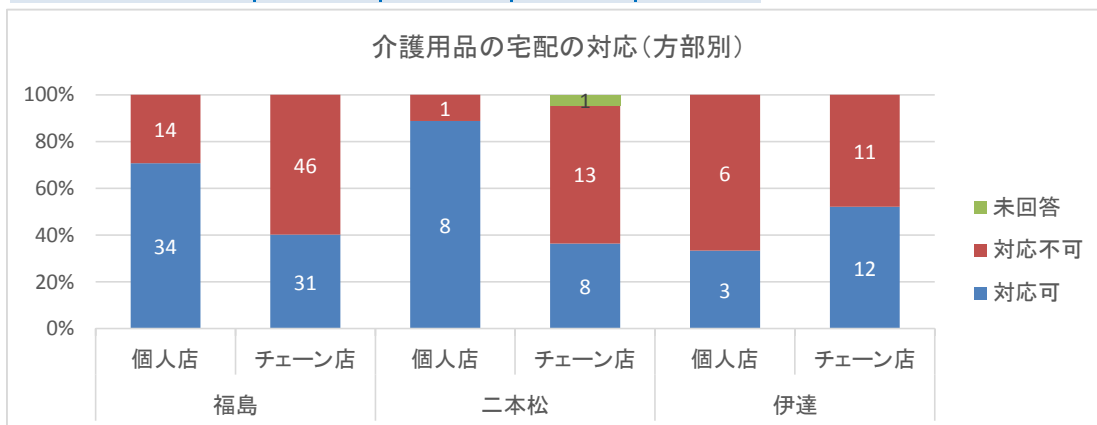
	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
対応可	45	68.2%	51	41.8%	96	51.1%
対応不可	21	31.8%	70	57.4%	91	48.4%
未回答	0	0.0%	1	0.8%	1	0.5%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%





<方部別>

	対応可	対応不可	未回答	総計
福島	65	60	0	125
個人店	34	14	0	48
チェーン店	31	46	0	77
二本松	16	14	1	31
個人店	8	1	0	9
チェーン店	8	13	1	22
伊達	15	17	0	32
個人店	3	6	0	9
チェーン店	12	11	0	23
総計	96	91	1	188



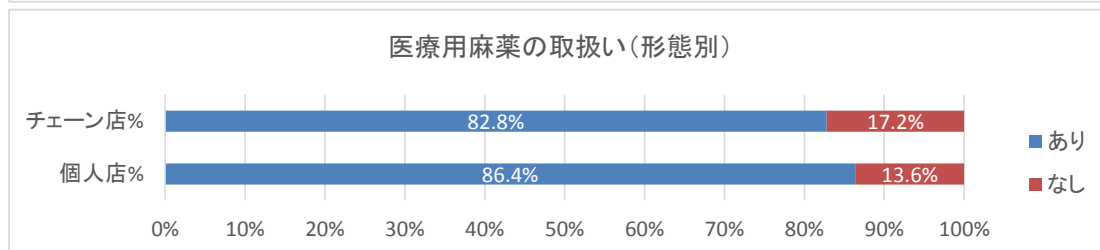
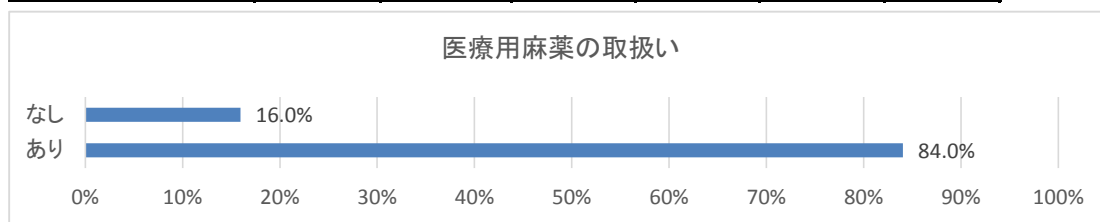
介護用品(おむつ、パッド等)の宅配の対応について、「対応可」と回答した薬局は51.1%であったが、「対応不可」と回答した薬局も48.4%であり、ほぼ半分ずつの回答であった。

形態別にみると、「対応可」と回答した薬局は、チェーン店が41.8%であるのに対し、個人店では68.2%であり、26.4%の差があった。

方部別にみると、二本松の個人店で「対応可」の割合が高く、伊達の個人店で「対応可」の割合が低い。

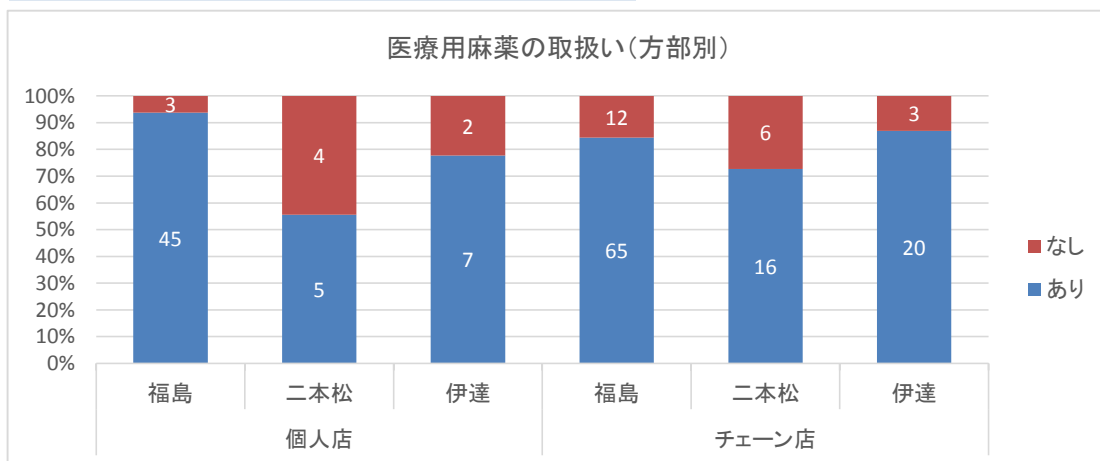
質問4-1 医療用麻薬の取扱いについて教えてください。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
あり	57	86.4%	101	82.8%	158	84.0%
なし	9	13.6%	21	17.2%	30	16.0%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%



<方部別>

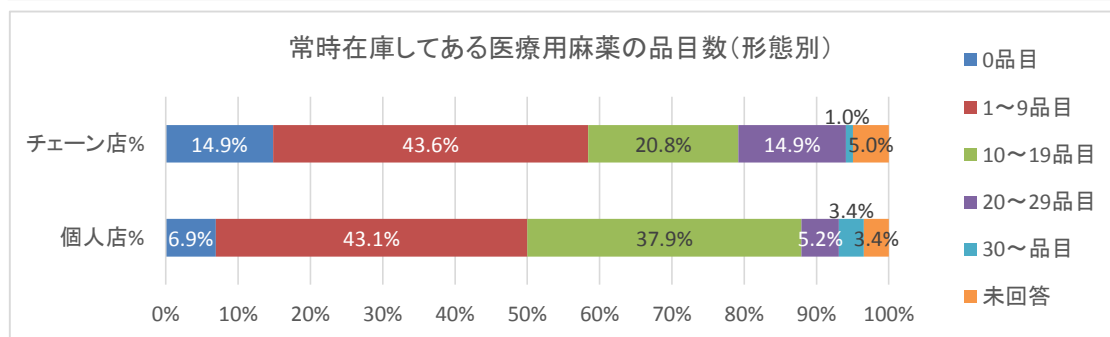
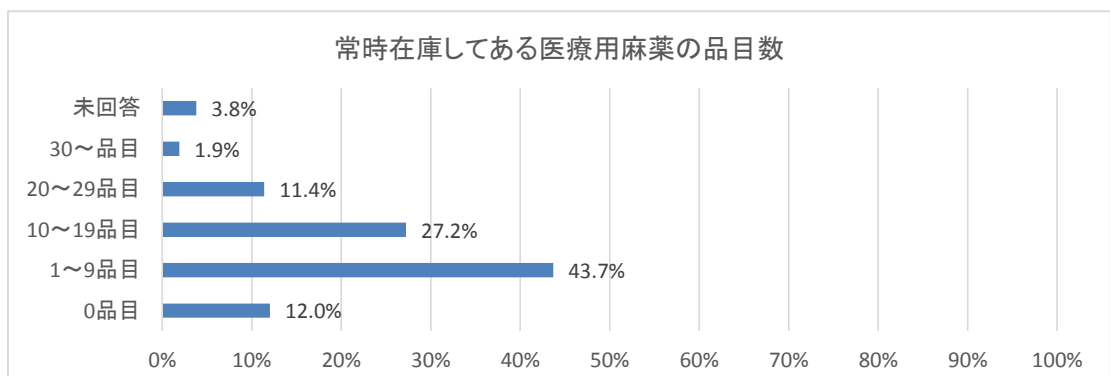
	あり	なし	総計
個人店	57	9	66
福島	45	3	48
二本松	5	4	9
伊達	7	2	9
チェーン店	101	21	122
福島	65	12	77
二本松	16	6	22
伊達	20	3	23
総計	158	30	188



医療用麻薬の取扱いについて、84.0%の薬局が「あり」と回答した。
 形態別にみると、取扱いのある薬局は個人店が86.4%、チェーン店が82.8%、差は3.6%で大きな差はなかった。
 方部別にみると二本松の個人店で取扱いのある薬局の割合が少ない。

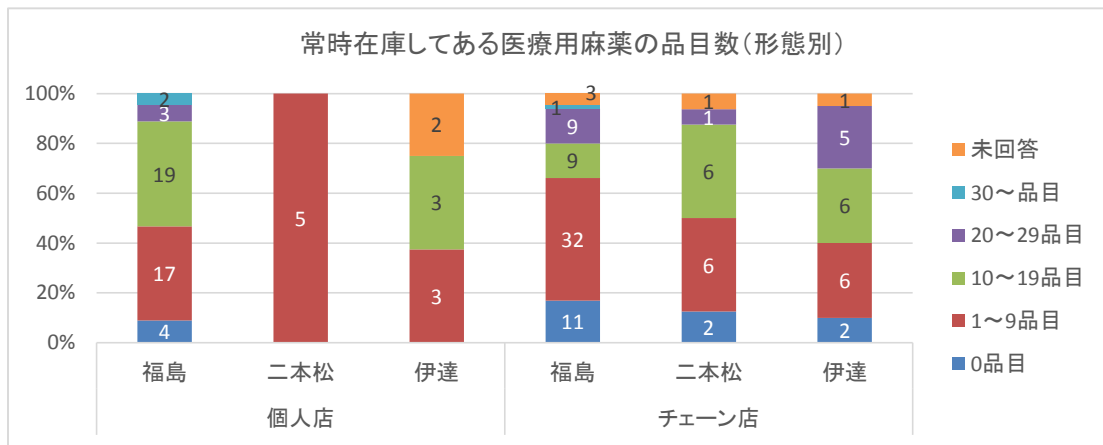
質問4-2 質問4-1で 1 あり と回答した方にお伺いします。
 常時在庫してある医療用麻薬の品目数を教えてください。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
0品目	4	6.9%	15	14.9%	19	12.0%
1～9品目	25	43.1%	44	43.6%	69	43.7%
10～19品目	22	37.9%	21	20.8%	43	27.2%
20～29品目	3	5.2%	15	14.9%	18	11.4%
30～品目	2	3.4%	1	1.0%	3	1.9%
未回答	2	3.4%	5	5.0%	6	3.8%
総計	58	100.0%	101	100.0%	158	100.0%



<方部別>

	0品目	1～9品目	10～19品目	20～29品目	30～品目	未回答	総計
個人店	4	25	22	3	2	2	58
福島	4	17	19	3	2		45
二本松		5					5
伊達		3	3			2	8
チェーン店	15	44	21	15	1	5	101
福島	11	32	9	9	1	3	65
二本松	2	6	6	1		1	16
伊達	2	6	6	5		1	20
総計	19	69	43	18	3	7	159

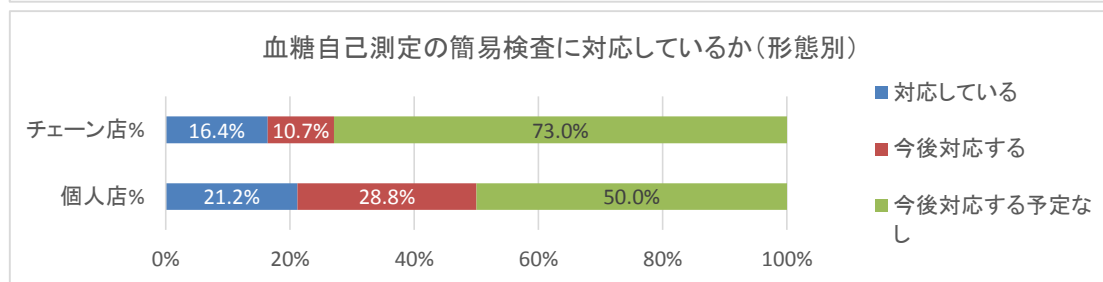
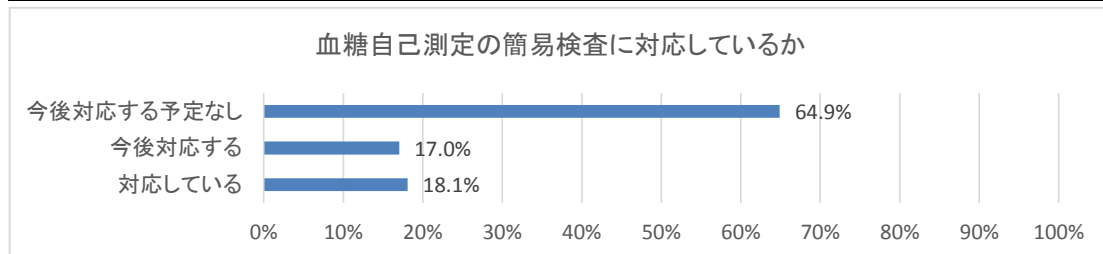


医療用麻薬の取扱いのある薬局が常時在庫している医療用麻薬の品目数については、「1～9品目」と回答した薬局が43.7%と最も多かった。次いで、「10～19品目」が27.2%であった。平均値は9、中央値は8であった。

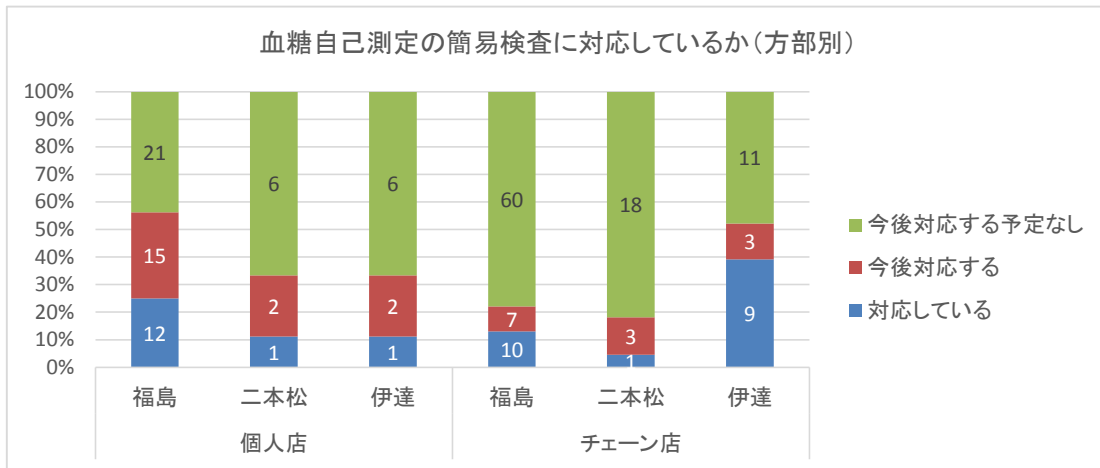
質問5

血糖自己測定の簡易検査に対応していますか。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
対応している	14	21.2%	20	16.4%	34	18.1%
今後対応する	19	28.8%	13	10.7%	32	17.0%
今後対応する予定なし	33	50.0%	89	73.0%	122	64.9%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%



	対応している	今後対応する	今後対応する予定なし	総計
個人店	14	19	33	66
福島	12	15	21	48
二本松	1	2	6	9
伊達	1	2	6	9
チェーン店	20	13	89	122
福島	10	7	60	77
二本松	1	3	18	22
伊達	9	3	11	23
総計	34	32	122	188



血糖自己測定の簡易検査に「対応している」と回答した薬局は18.1%であった。「今後対応する」と回答した薬局と合わせると、35.1%であった。

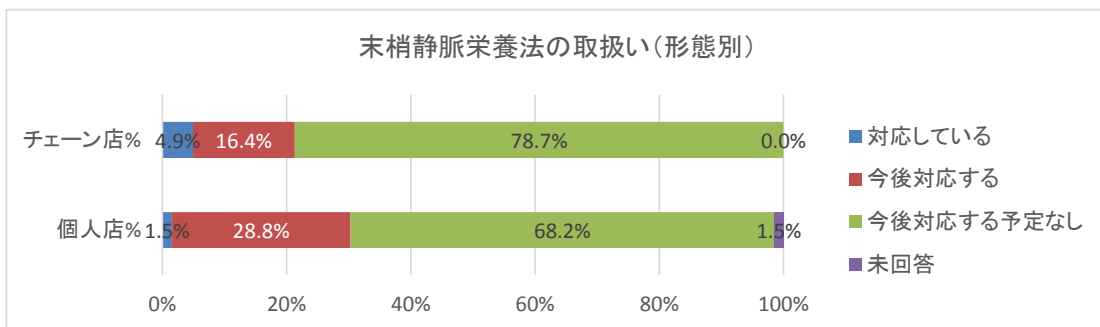
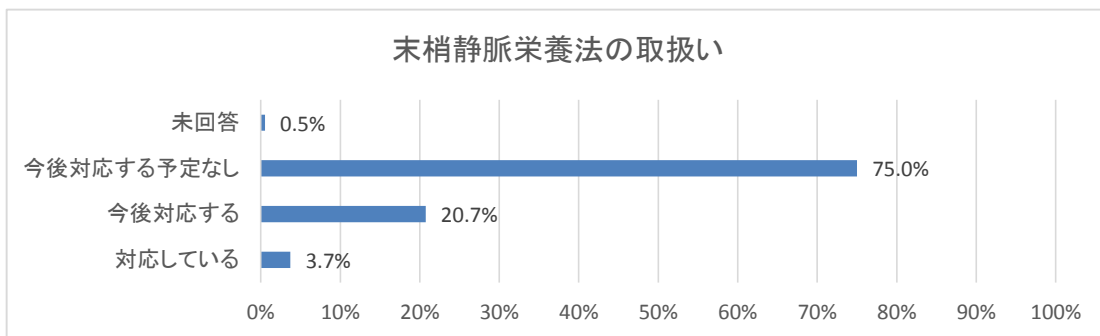
形態別にみると、「対応している」と「今後対応する」の回答について、個人店では50.0%であるのに対し、チェーン店では27.0%と、チェーン店が23.0%低い。

方部別にみると、二本松のチェーン店で「今後対応する」「対応している」の回答が少ない。

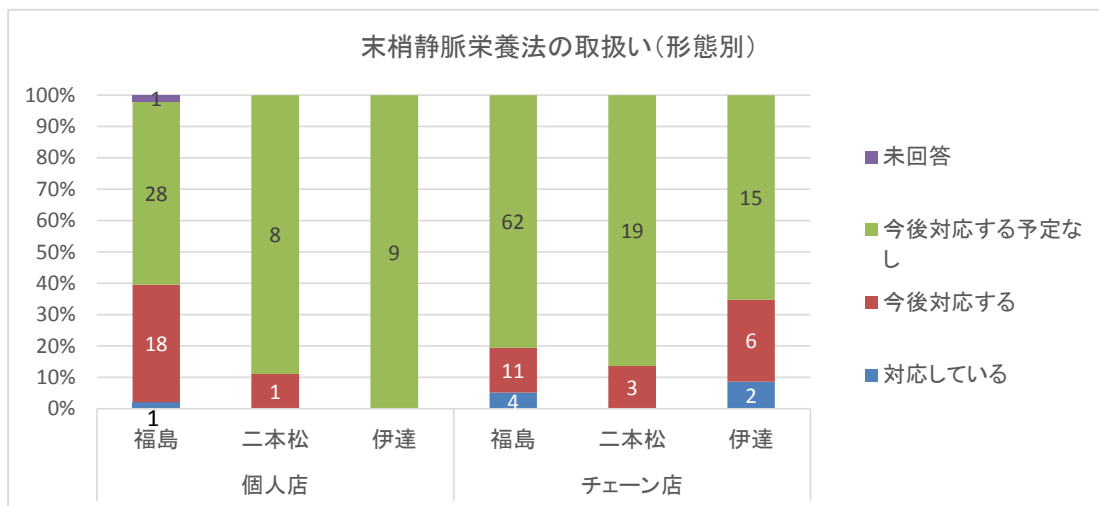
質問6

末梢静脈栄養法の取り扱いについて教えてください。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
対応している	1	1.5%	6	4.9%	7	3.7%
今後対応する	19	28.8%	20	16.4%	39	20.7%
今後対応する予定なし	45	68.2%	96	78.7%	141	75.0%
未回答	1	1.5%	0	0.0%	1	0.5%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%



	対応している	今後対応する	今後対応する予定なし	未回答	総計
個人店	1	19	45	1	66
福島	1	18	28	1	48
二本松		1	8		9
伊達			9		9
チェーン店	6	20	96		122
福島	4	11	62		77
二本松		3	19		22
伊達	2	6	15		23
総計	7	39	141	1	188

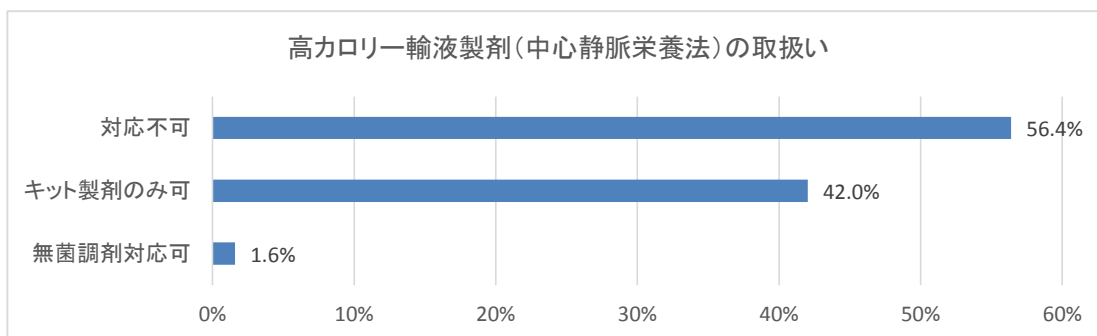


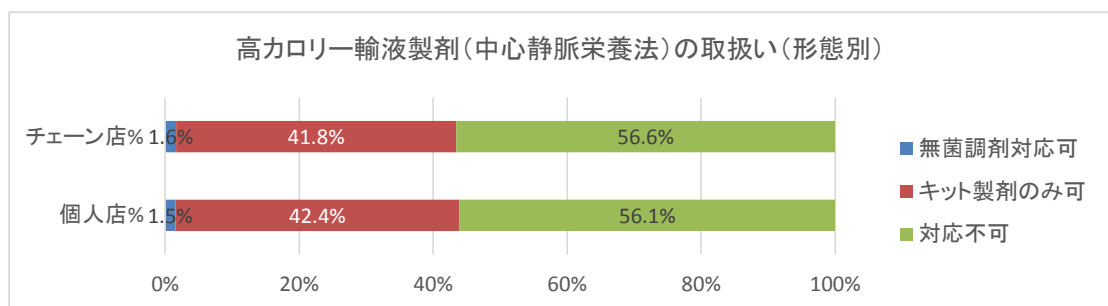
末梢静脈栄養法の取扱いについては、「対応している」が3.7%、「今後対応する」が20.7%で、それらを合わせると24.5%であった。
 形態別にみると、「対応している」と「今後対応する」について、個人店では30.3%、チェーン店で21.3%であり、9.0%の差であった。
 方部別にみると、伊達の個人店で「今後対応する」「対応している」の回答がない。

質問7

高カロリー輸液製剤(中心静脈栄養法)の取り扱いについて教えてください。

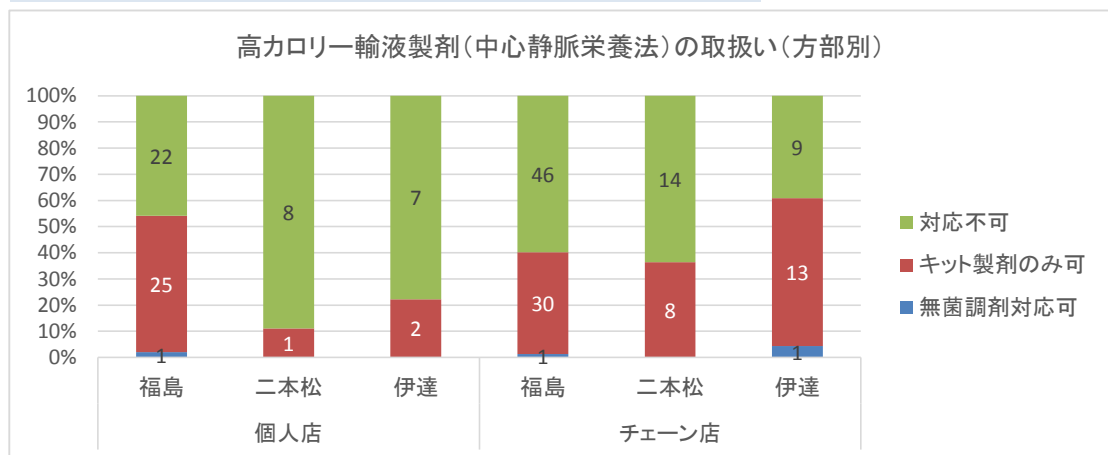
	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
無菌調剤対応可	1	1.5%	2	1.6%	3	1.6%
キット製剤のみ可	28	42.4%	51	41.8%	79	42.0%
対応不可	37	56.1%	69	56.6%	106	56.4%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%





<方部別>

	無菌調剤対応可	キット製剤のみ可	対応不可	総計
個人店	1	28	37	66
福島	1	25	22	48
二本松		1	8	9
伊達		2	7	9
チェーン店	2	51	69	122
福島	1	30	46	77
二本松		8	14	22
伊達	1	13	9	23
総計	3	79	106	188



高カロリー輸液製剤(中心静脈栄養法)の取扱いについて、「無菌調剤対応可」と「キット製剤のみ可」と回答した薬局は合わせて43.6%であった。

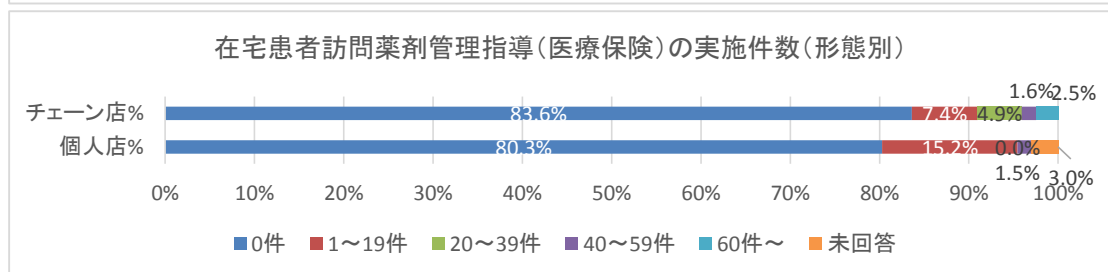
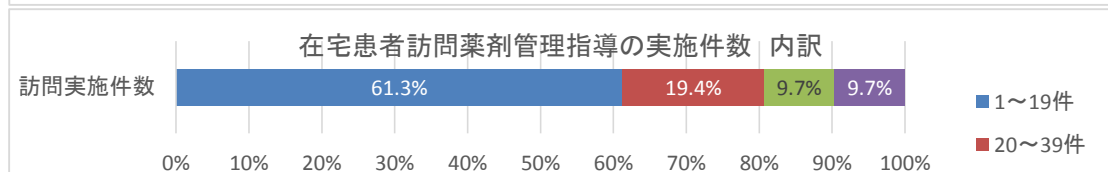
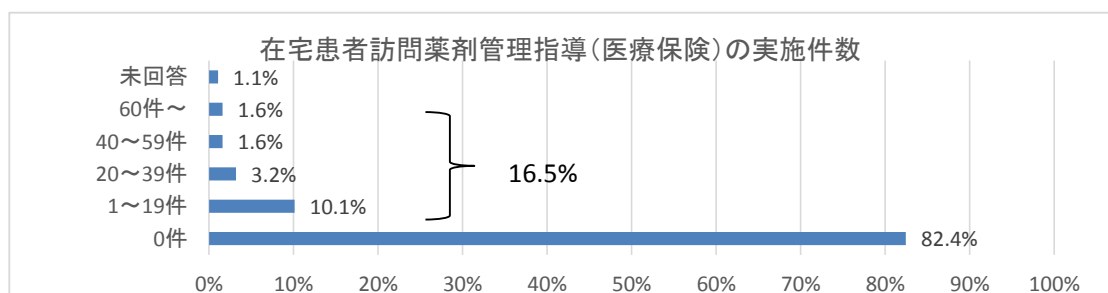
形態別にみると、個人店とチェーン店との差は0.5%で、大きな差はなかった。

方部別にみると、二本松の個人店で対応可の割合が少ない。

質問8-1 在宅患者訪問薬剤管理指導(医療保険)の実施件数を教えてください。

平成27年4月1日～平成28年6月30日の訪問実件数

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
0件	53	80.3%	102	83.6%	155	82.4%
1～19件	10	15.2%	9	7.4%	19	10.1%
20～39件	0	0.0%	6	4.9%	6	3.2%
40～59件	1	1.5%	2	1.6%	3	1.6%
60件～	0	0.0%	3	2.5%	3	1.6%
未回答	2	3.0%	0	0.0%	2	1.1%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%

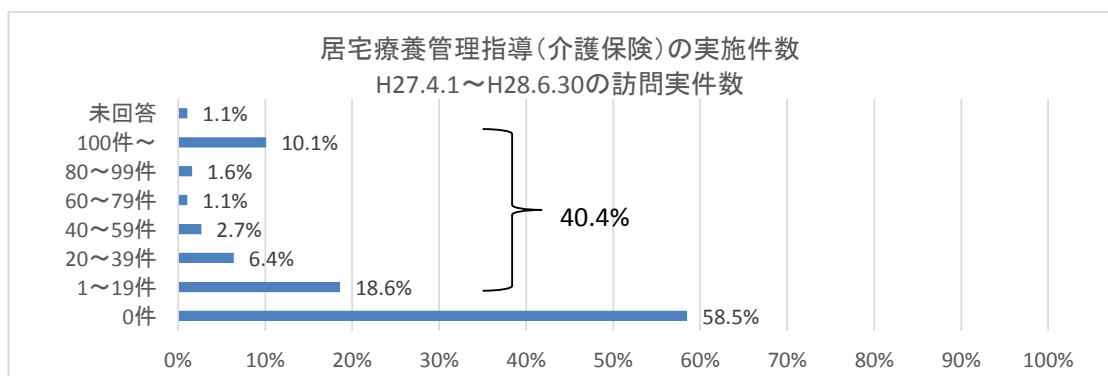


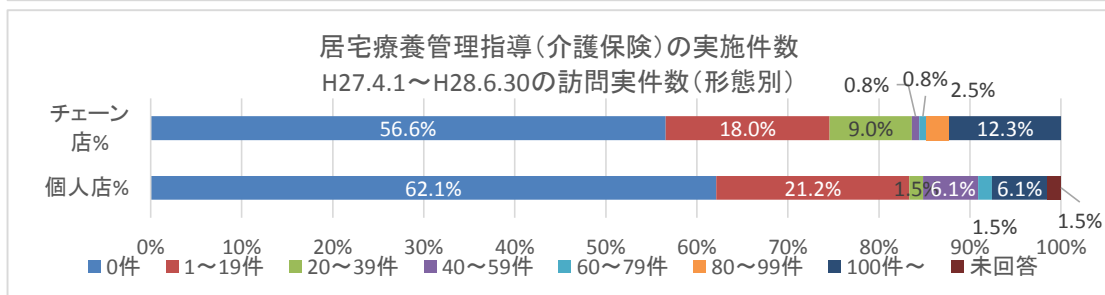
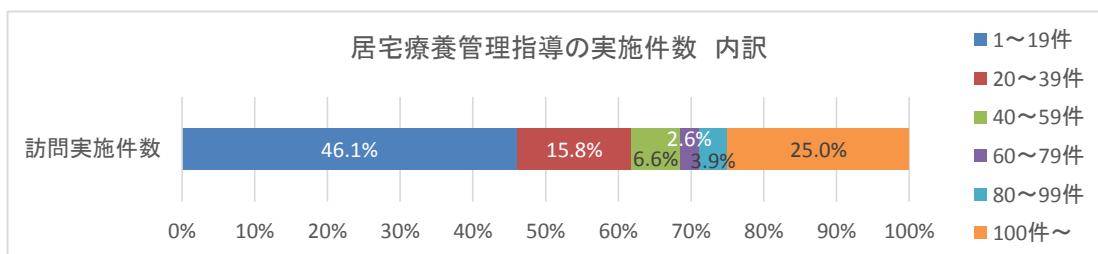
在宅患者訪問薬剤管理指導(医療保険)の実施薬局は33か所で、全体の17%であった。そのうち多かった実施件数は「1～19件」で、実施薬局の61.3%であった。形態別にみると、実施していない薬局の割合は個人店が80.3%、チェーン店が83.6%で、差は3.3%であり、大きな差はなかった。

質問8-2 居宅療養管理指導(介護保険)の実施件数を教えてください。

平成27年4月1日～平成28年6月30日の訪問実件数

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
0件	41	62.1%	69	56.6%	110	58.5%
1～19件	14	21.2%	22	18.0%	35	18.6%
20～39件	1	1.5%	11	9.0%	12	6.4%
40～59件	4	6.1%	1	0.8%	5	2.7%
60～79件	1	1.5%	1	0.8%	2	1.1%
80～99件	0	0.0%	3	2.5%	3	1.6%
100件～	4	6.1%	15	12.3%	19	10.1%
未回答	1	1.5%	0	0.0%	2	1.1%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%

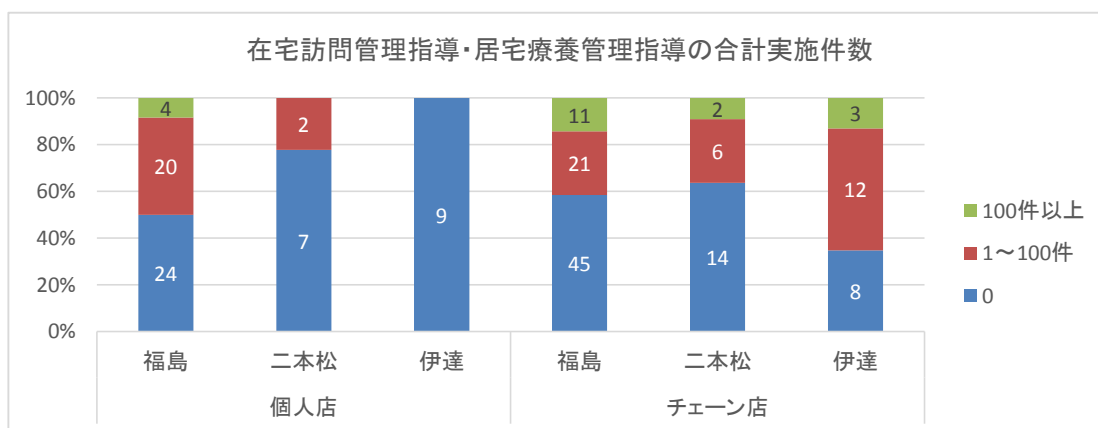




居宅療養管理指導(介護保険)の実施薬局は76か所で、40.4%であった。
そのうち多かった実施件数は「1~19件」で、実施薬局の46.1%であった。
形態別にみると、実施していない薬局の割合は個人店が62.1%、チェーン店が56.6%で、差は35.5%であり、個人店のほうが訪問を実施していない薬局が多い。

<質問8-1と8-2を合わせた結果・方部別>

	0 1~100件		100件以上	総計
個人店	40	22	4	66
福島	24	20	4	48
二本松	7	2		9
伊達	9			9
チェーン店	67	39	16	122
福島	45	21	11	77
二本松	14	6	2	22
伊達	8	12	3	23
総計	107	61	20	188

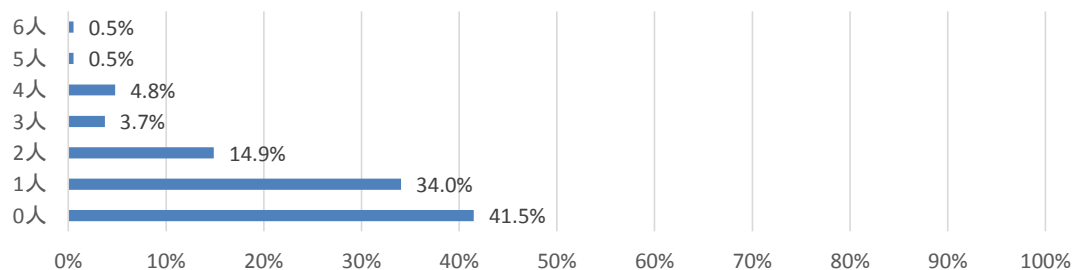


在宅訪問管理指導・居宅療養管理指導の合計実施件数を形態別・方部別にみると、伊達のチェーン店の65%が1件以上実施している一方、伊達の個人店では実施件数0という結果であった。

質問9-1 訪問を担当している薬剤師の人数を教えてください。

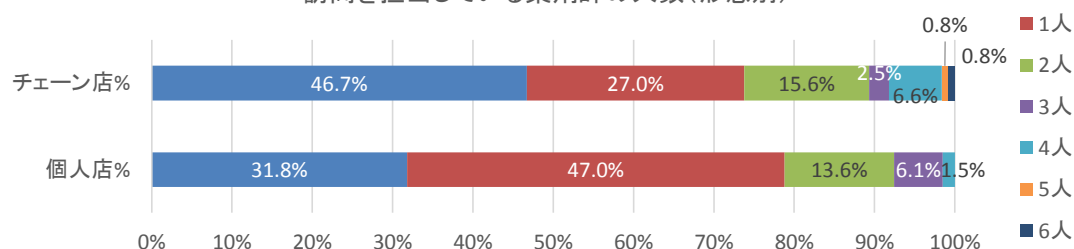
	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
0人	21	31.8%	57	46.7%	78	41.5%
1人	31	47.0%	33	27.0%	64	34.0%
2人	9	13.6%	19	15.6%	28	14.9%
3人	4	6.1%	3	2.5%	7	3.7%
4人	1	1.5%	8	6.6%	9	4.8%
5人	0	0.0%	1	0.8%	1	0.5%
6人	0	0.0%	1	0.8%	1	0.5%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%

在宅訪問を担当している薬剤師の人数

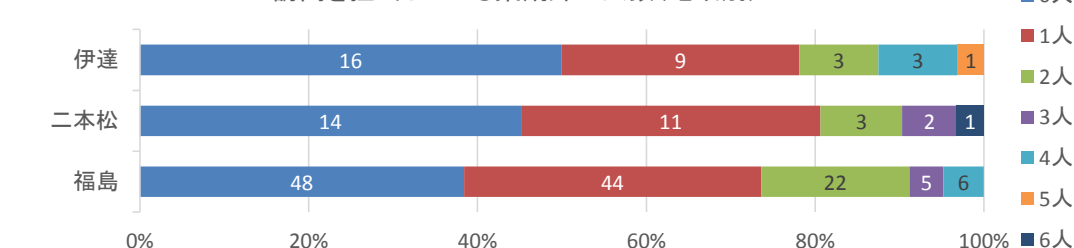


管内の110か所(58.5%)の薬局で、訪問を実施している。訪問を担当している薬剤師の数は「1人」が34.0%で最も多く、次いで「2人」が14.9%であった。
訪問を担当している薬剤師が「0人」と回答した薬局は41.5%であった。

訪問を担当している薬剤師の人数(形態別)



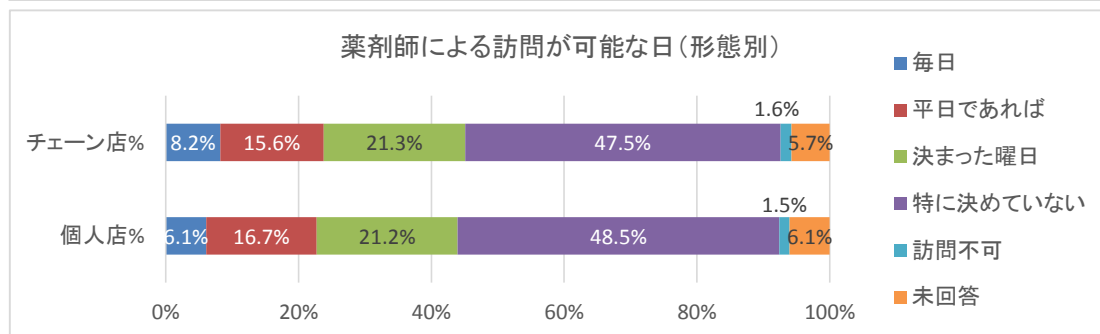
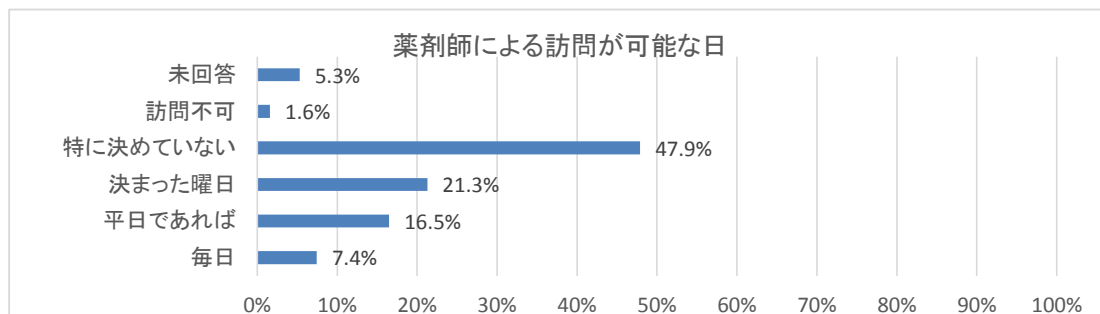
訪問を担当している薬剤師の人数(地域別)



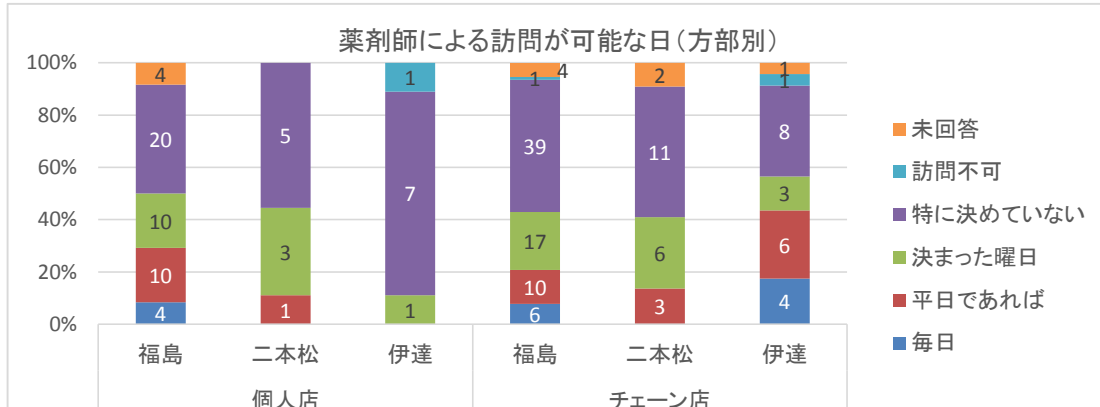
形態別にみると、在宅訪問を担当している割合が高いのは個人店であった。
地域別にみると、訪問している薬剤師の割合が最も高いのは福島で、他よりも「2人」での訪問が多い。

質問9-2 薬剤師による訪問が可能な日について教えてください。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
毎日	4	6.1%	10	8.2%	14	7.4%
平日であれば	11	16.7%	19	15.6%	31	16.5%
決まった曜日	14	21.2%	26	21.3%	40	21.3%
特に決めていない	32	48.5%	58	47.5%	90	47.9%
訪問不可	1	1.5%	2	1.6%	3	1.6%
未回答	4	6.1%	7	5.7%	10	5.3%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%



	毎日	平日であれば	決まった曜日	特に決めていない	訪問不可	未回答	総計
個人店	4	11	14	32	1	4	66
福島	4	10	10	20		4	48
二本松		1	3	5			9
伊達			1	7	1		9
チェーン店	10	19	26	58	2	7	122
福島	6	10	17	39	1	4	77
二本松		3	6	11		2	22
伊達	4	6	3	8	1	1	23
総計	14	30	40	90	3	11	188



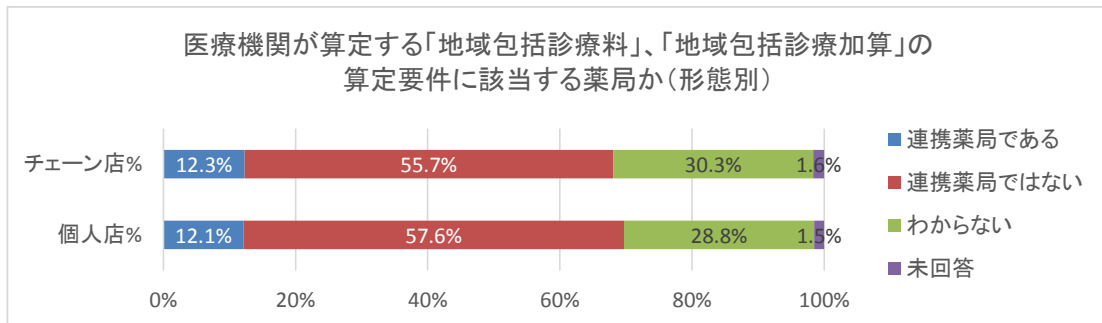
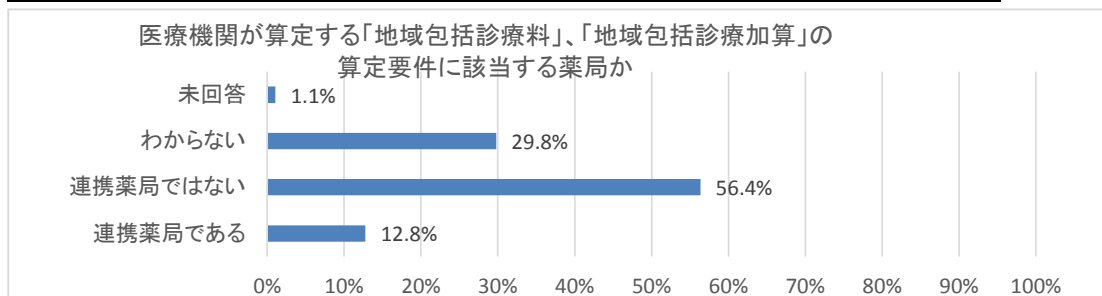
薬剤師による訪問が可能な日については、「特に決めていない」が90か所(47.9%)で最も多く、次いで「決まった曜日」と回答した薬局が40か所(21.3%)であった。

質問9-3 訪問対象地域を教えてください。(自由記載)

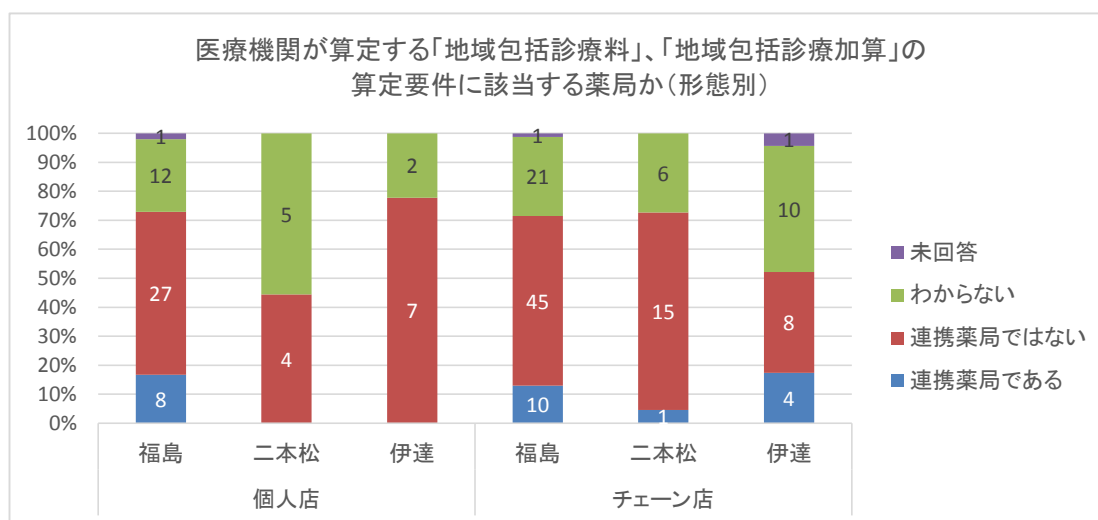
(省略)
在宅緩和ケア社会資源情報(県北地域)に記載
URL <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21110a/zaitakukanwacare-shakaishiggen.html>

質問10-1 貴薬局は、医療機関が算定する「地域包括診療料」、「地域包括診療加算」の算定要件に該当する薬局ですか。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
連携薬局である	8	12.1%	15	12.3%	24	12.8%
連携薬局ではない	38	57.6%	68	55.7%	106	56.4%
わからない	19	28.8%	37	30.3%	56	29.8%
未回答	1	1.5%	2	1.6%	2	1.1%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%



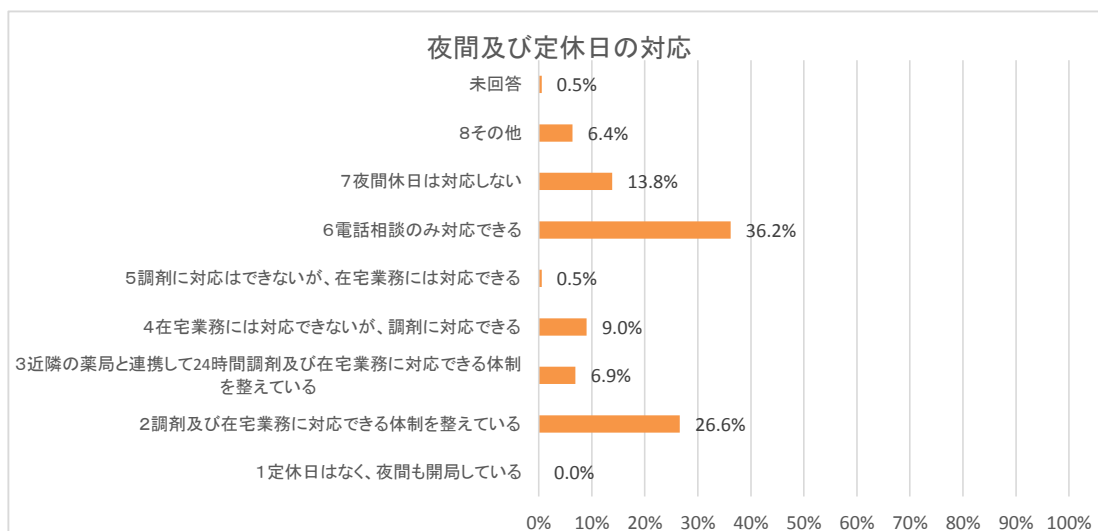
	連携薬局である	連携薬局ではない	わからない	未回答	総計
個人店	8	38	19	1	66
福島	8	27	12	1	48
二本松		4	5		9
伊達		7	2		9
チェーン店	15	68	37	2	122
福島	10	45	21	1	77
二本松	1	15	6		22
伊達	4	8	10	1	23
総計	23	106	56	3	188

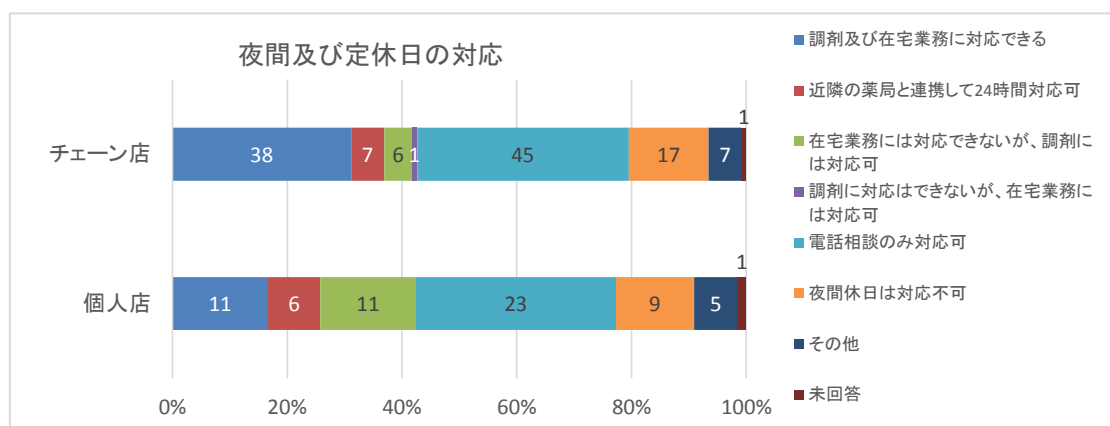


「地域包括診療料」、「地域包括診療科加算」の算定要件に該当すると回答した薬局は24か所で、12.8%であった。「連携薬局ではない」と回答した薬局は106か所で、56.4%であったが、「わからない」と回答した薬局が56か所(29.8%)であった。

質問10-2 夜間及び定休日の対応について教えてください。

	回答数	割合
1 定休日はなく、夜間も開局している	0	0.0%
2 調剤及び在宅業務に対応できる体制を整えている	50	26.6%
3 近隣の薬局と連携して24時間調剤及び在宅業務に対応できる体制を整えている	13	6.9%
4 在宅業務には対応できないが、調剤に対応できる	17	9.0%
5 調剤に対応はできないが、在宅業務には対応できる	1	0.5%
6 電話相談のみ対応できる	68	36.2%
7 夜間休日は対応しない	26	13.8%
8 その他	12	6.4%
未回答	1	0.5%
総計	188	100.0%





その他の内容

会社の指示がなければ対応できない

当面電話対応は可

在宅をやっていない

今のところ何も決まっていないため、返答できない

近隣の医療機関からの要望があれば対応したい

転送電話により薬剤師が対応可能(状況により緊急対応できないことあり。)

まず電話にて対応してから受けつけたり、在庫ある紹介先などお伝えしたりしている。

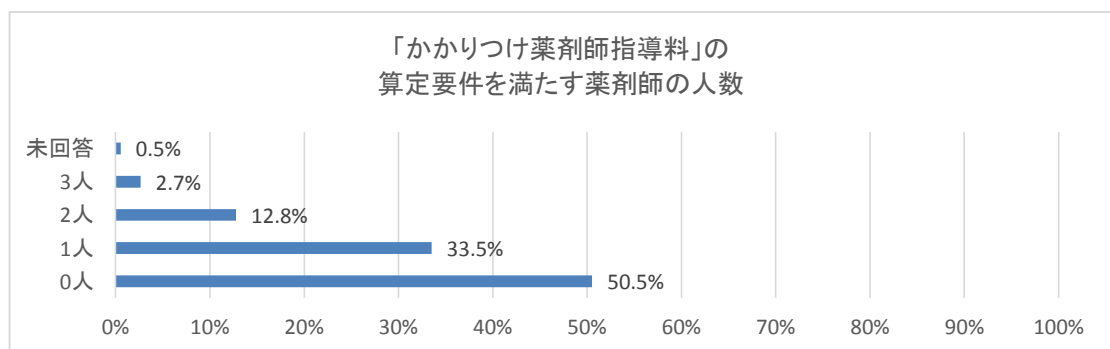
現在検討中で今後、対応していきたい

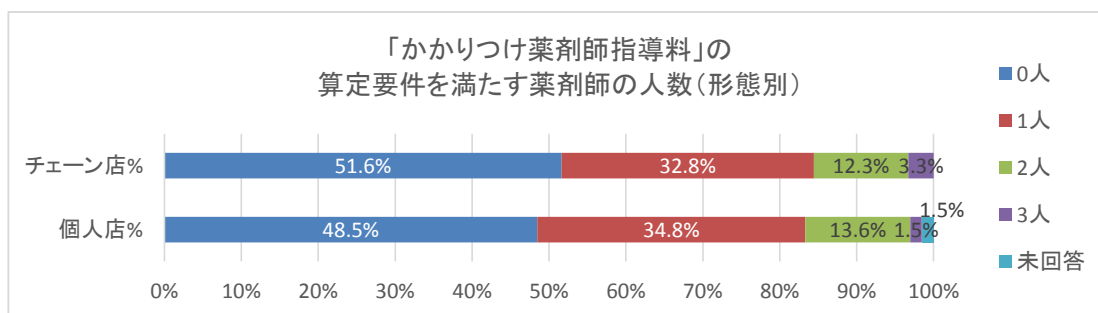
電話にて対応し、場合によっては調剤などを行う。在宅については、要相談。

「2 調剤及び在宅業務に対応できる体制を整えている」と「3 近隣の薬局と連携して24時間調剤及び在宅業務に対応できる体制を整えている」を合わせて、63か所(33.5%)で夜間・定休日にも調剤及び在宅業務に対応している。「4 在宅業務には対応できないが、調剤に対応できる」と回答した薬局を加えると、80か所(42.6%)で夜間・定休日の調剤に対応が可としている。

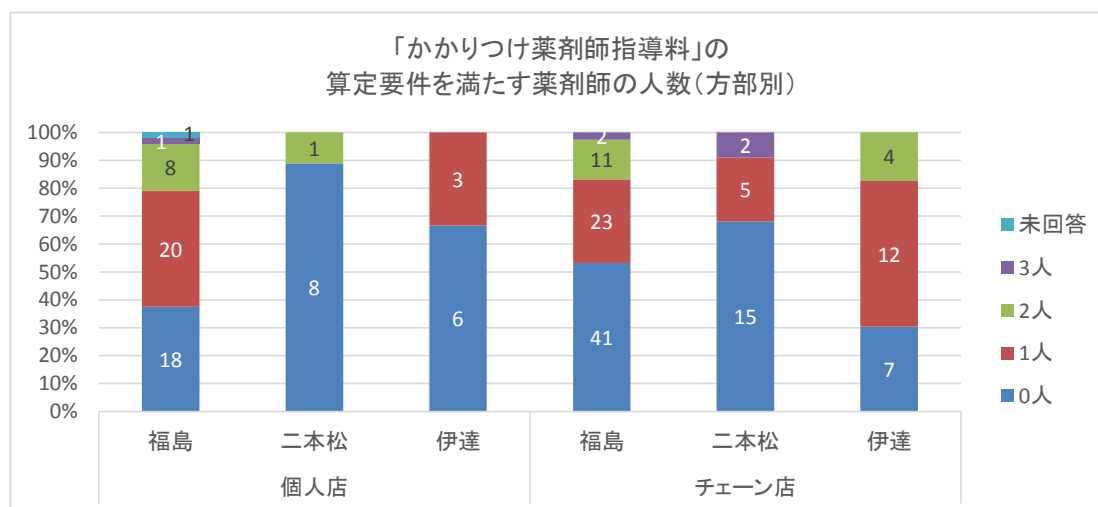
質問11 平成28年度診療報酬改定において新設された、「かかりつけ薬剤師指導料」の算定要件を満たす薬剤師は貴薬局に何人いますか。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
0人	32	48.5%	63	51.6%	95	50.5%
1人	23	34.8%	40	32.8%	63	33.5%
2人	9	13.6%	15	12.3%	24	12.8%
3人	1	1.5%	4	3.3%	5	2.7%
未回答	1	1.5%	0	0.0%	1	0.5%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%





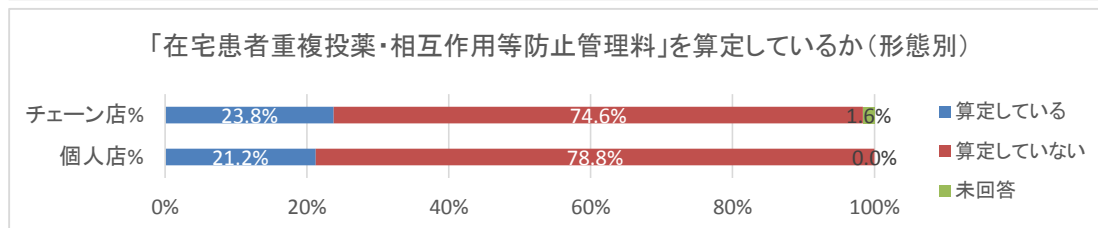
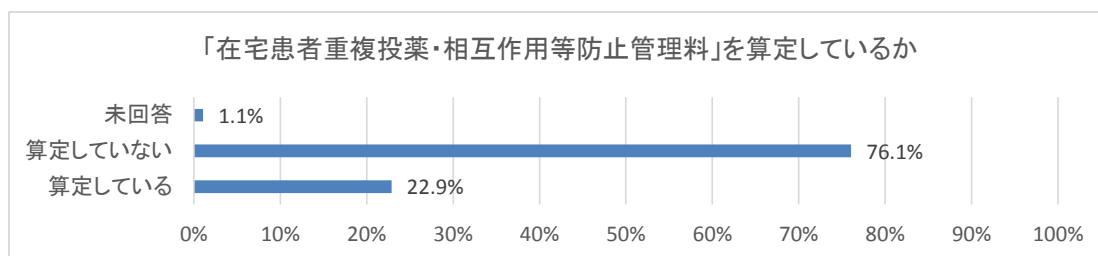
	0人	1人	2人	3人	未回答	総計
個人店	32	23	9	1	1	66
福島	18	20	8	1	1	48
二本松	8		1			9
伊達	6	3				9
チェーン店	63	40	15	4		122
福島	41	23	11	2		77
二本松	15	5		2		22
伊達	7	12	4			23
総計	95	63	24	5	1	188



「かかりつけ薬剤師指導料」の算定要件を満たす薬剤師がいる薬局は、92か所(48.9%)であった。人数は「1人」が最も多く、『「かかりつけ薬剤師指導料」の算定要件を満たす薬剤師がいる』と回答した薬局のうち68.5%であった。

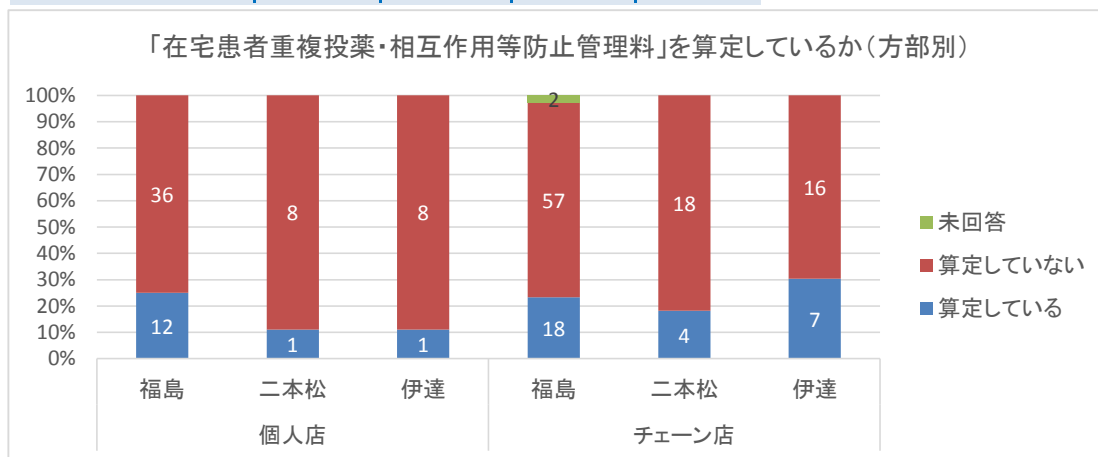
質問12 貴薬局は、平成28年度診療報酬改定において新設された、「在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料」を算定していますか。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
算定している	14	21.2%	29	23.8%	43	22.9%
算定していない	52	78.8%	91	74.6%	143	76.1%
未回答	0	0.0%	2	1.6%	2	1.1%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%



<方部別>

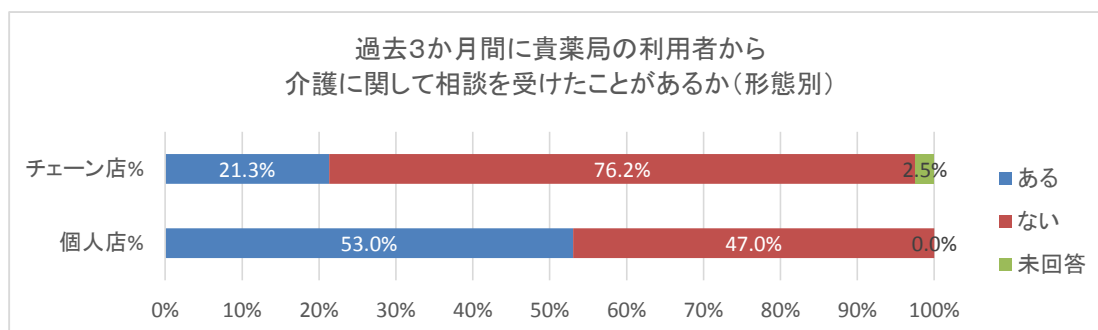
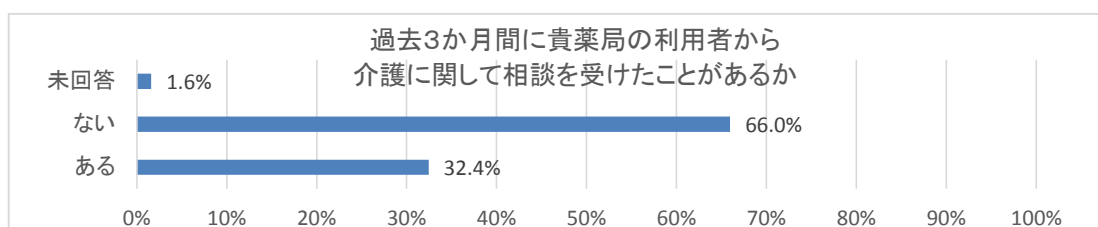
	算定してい る	算定してい ない	未回答	総計
個人店	14	52		66
福島	12	36		48
二本松	1	8		9
伊達	1	8		9
チェーン店	29	91	2	122
福島	18	57	2	77
二本松	4	18		22
伊達	7	16		23
総計	43	143	2	188



「在宅患者重複投薬・相互作用等防止管理料」を算定している薬局は43か所(22.9%)で、ほとんどの薬局が算定していない状況であった。

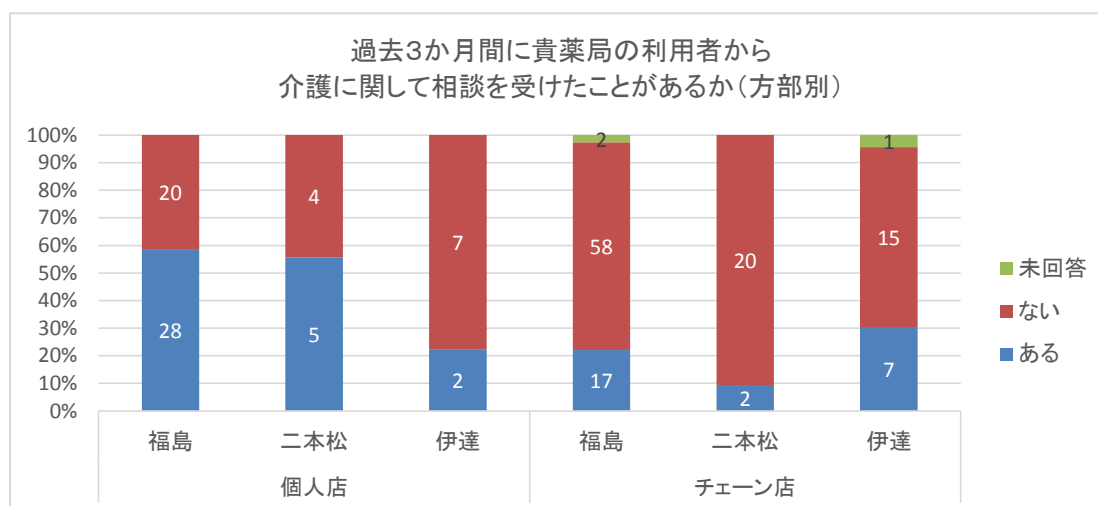
質問13-1 過去3か月間に貴薬局の利用者から介護に関して相談を受けたことがありますか。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
ある	35	53.0%	26	21.3%	61	32.4%
ない	31	47.0%	93	76.2%	124	66.0%
未回答	0	0.0%	3	2.5%	3	1.6%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%



<方部別>

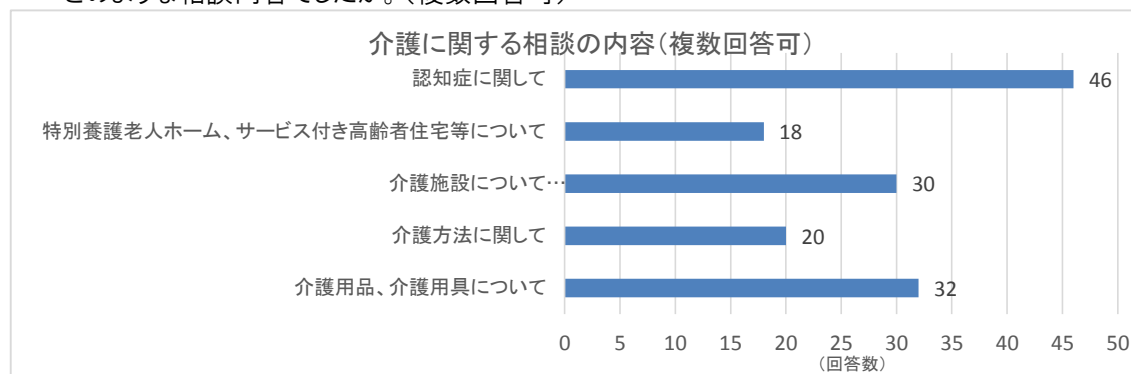
	ある	ない	未回答	総計
個人店	35	31		66
福島	28	20		48
二本松	5	4		9
伊達	2	7		9
チェーン店	26	93	3	122
福島	17	58	2	77
二本松	2	20		22
伊達	7	15	1	23
総計	61	124	3	188



過去3か月間に貴薬局の利用者から介護に関して相談を受けたことが「ある」と回答した薬局は61か所(32.4%)であった。

質問13-2 ◆質問13-1で「1 ある」と回答した方にお伺いします。

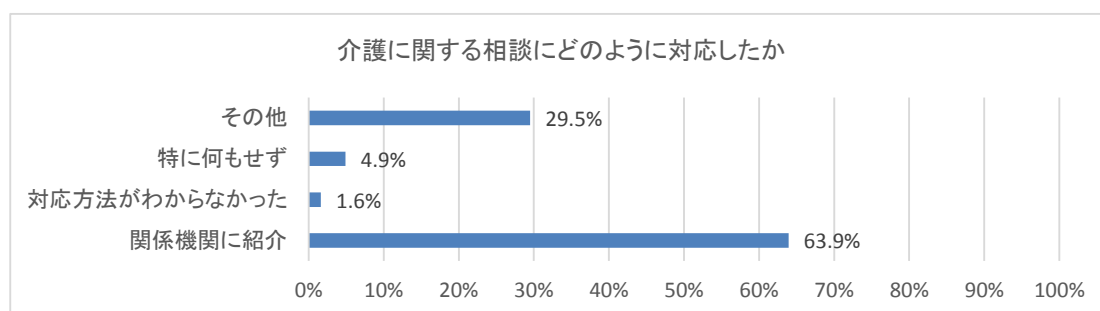
どのような相談内容でしたか。(複数回答可)



相談内容で最も多かったのは、「認知症に関して」で46件、次いで「介護用品・介護用部について」が32件、「介護方法について」が20件であった。

質問13-3 ◆質問13-1で「1 ある」と回答した方にお伺いします。その後どのように対応しましたか。

関係機関に紹介	39	63.9%
対応方法がわからなかった	1	1.6%
特に何もせず	3	4.9%
その他	18	29.5%
総計	61	100.0%



その他の内容

お薬カレンダー、一包化など提案し解決

処方医への相談を勧め、剤形変更などの方法があることを説明(他薬局で調剤された薬だった為)

薬局で対応

家族の関係もあるので、認知症の進行を遅らせるように、デイサービス等の利用を進めた。

薬局内で対応できた。

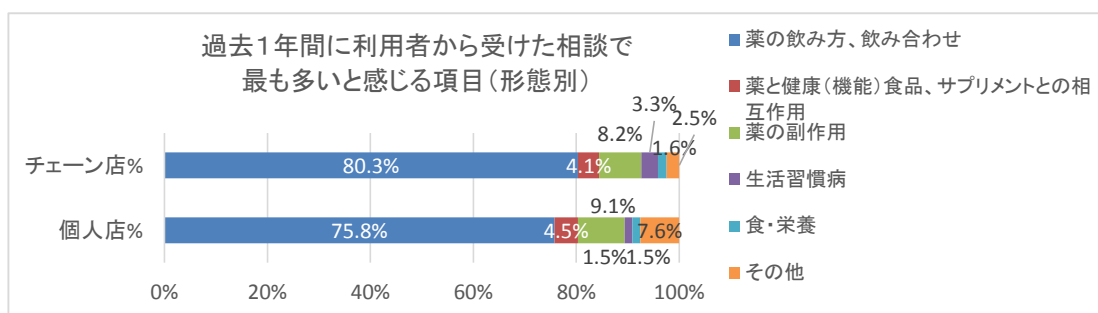
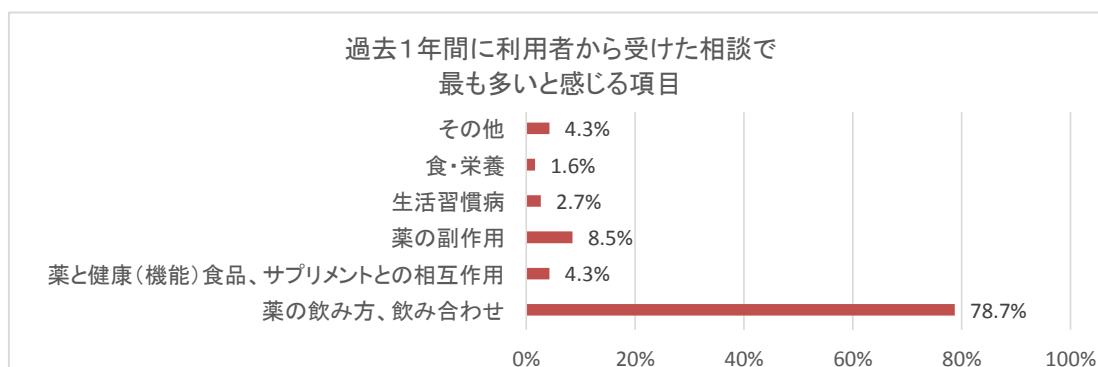
介護に関する相談にどのように対応したかについては、「関係機関に紹介」が39件で、63.9%であった。

質問14 過去1年間に貴薬局の利用者等から受けた健康に関する相談で、どの項目が多いと感じますか。最も多いと思うものを教えてください。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
薬の飲み方、飲み合わせ	50	75.8%	98	80.3%	148	78.7%
薬と健康(機能)食品、サプリメントとの相互作用	3	4.5%	5	4.1%	8	4.3%
薬の副作用	6	9.1%	10	8.2%	16	8.5%
生活習慣病	1	1.5%	4	3.3%	5	2.7%
食・栄養	1	1.5%	2	1.6%	3	1.6%
その他	5	7.6%	3	2.5%	8	4.3%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%

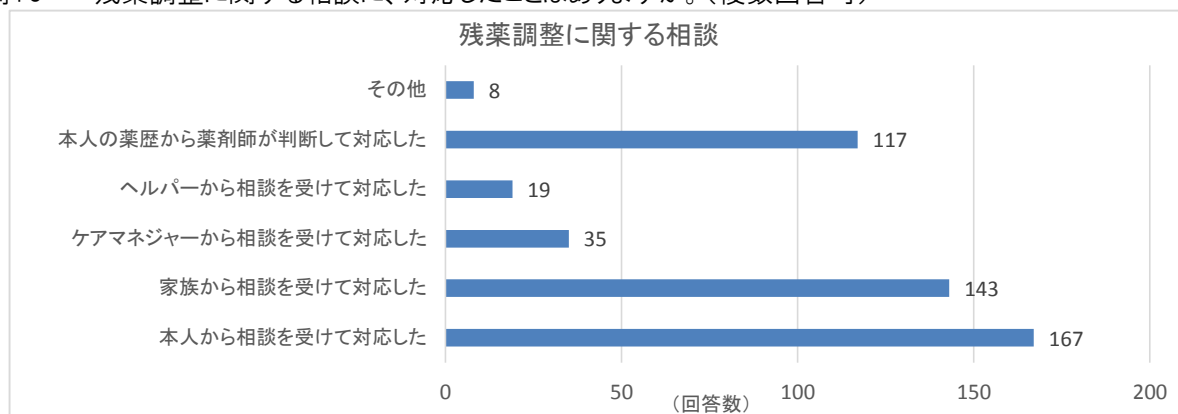
その他の内容

- ・来店者は老人が多いので、足腰が弱くなって転びやすくなったり、不眠や尿漏れなどで困っていることが多い。
- ・残薬
- ・症状の相談



過去1年間に利用者から受けた相談で最も多いと感じる項目は、「薬の飲み方、飲み合わせ」と回答した薬局が148か所で78.7%を占め、次いで「薬の副作用」と回答した薬局が16か所(8.5%)であった。

質問15 残薬調整に関する相談に、対応したことはありますか。(複数回答可)



その他の内容

医師からの相談

処方医からの指示

医師からの相談を受けて対応した

訪問した際に残薬を発見

週一回ずつ、お薬カレンダーに入れ飲み忘れがないか確認し、残薬チェック。

医療機関からの依頼

包括支援センターからの相談

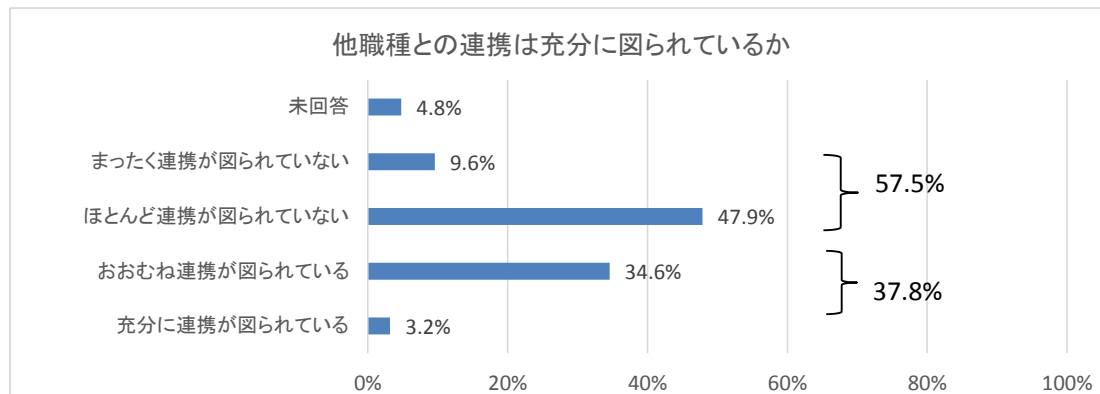
患者宅訪問で、残薬を発見して対応した。

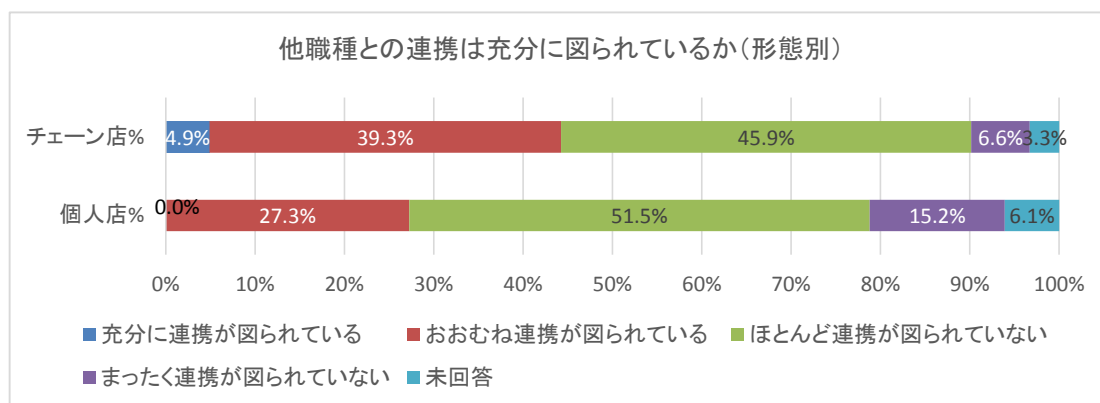
相談を受けたことがない

残薬調整に関する相談については、「本人からの相談」が最も多く、167(88.8%)、次いで、「家族からの相談」が143(76.1%)、本人の薬歴から薬剤師が判断して対応」が117(62.2%)であった。薬剤師が薬歴から判断したというのは、かかりつけ薬局ならではの対応である。

質問16-1 他職種との連携は十分に図られていると思いますか。

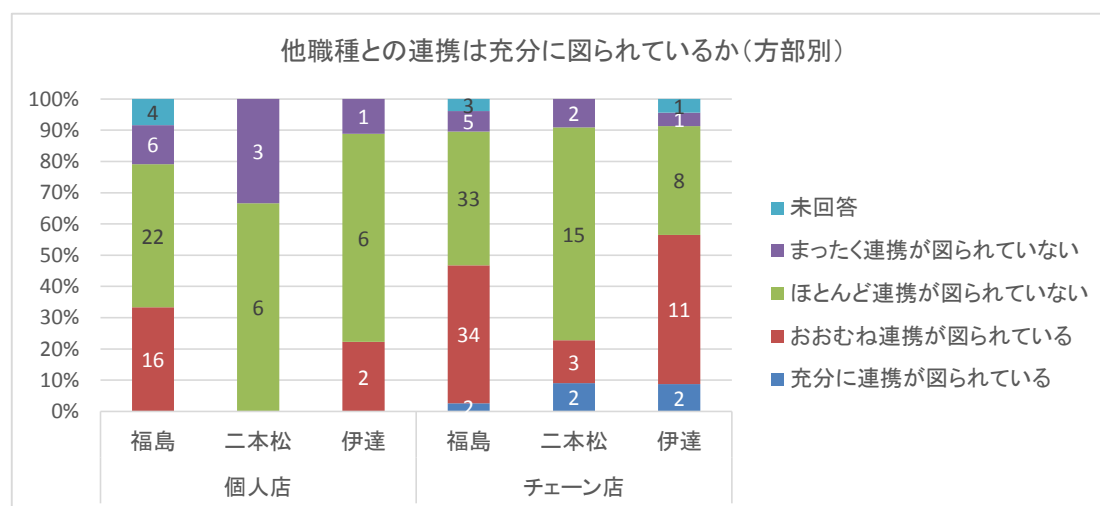
	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
十分に連携が図られている	0	0.0%	6	4.9%	6	3.2%
おおむね連携が図られている	18	27.3%	48	39.3%	65	34.6%
ほとんど連携が図られていない	34	51.5%	56	45.9%	90	47.9%
まったく連携が図られていない	10	15.2%	8	6.6%	18	9.6%
未回答	4	6.1%	4	3.3%	9	4.8%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%





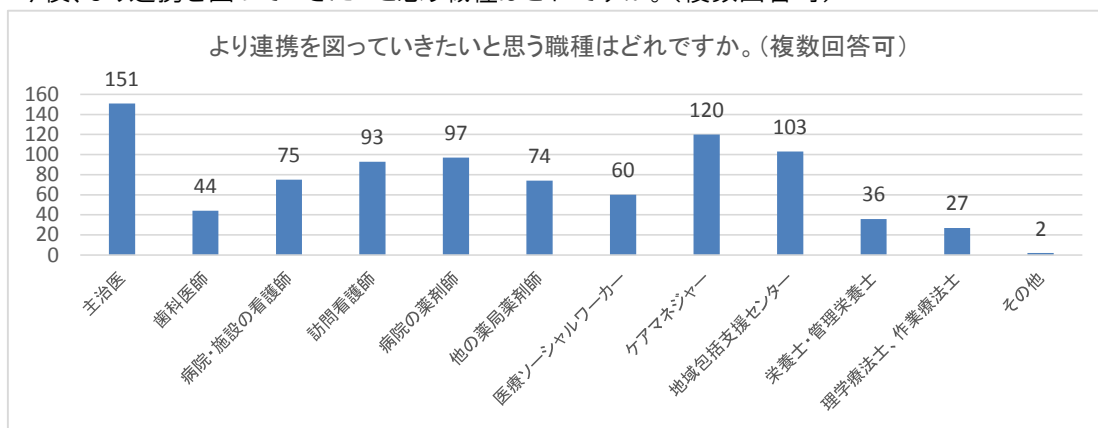
＜方部別＞

	十分に連携が図られている	おおむね連携が図られている	ほとんど連携が図られていない	まったく連携が図られていない	未回答	総計
個人店		18	34	10	4	66
福島		16	22	6	4	48
二本松			6	3		9
伊達		2	6	1		9
チェーン店	6	48	56	8	4	122
福島	2	34	33	5	3	77
二本松	2	3	15	2		22
伊達	2	11	8	1	1	23
総計	6	66	90	18	8	188



「十分に連携が図られている」と「おおむね連携が図られている」を合わせると71件(37.8%)で、「ほとんど連携が図られていない」と「まったく連携が図られていない」を合わせると108(57.5%)であった。

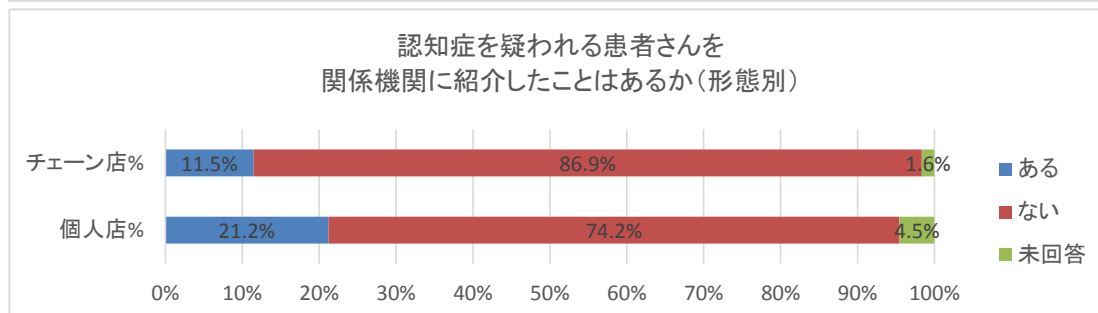
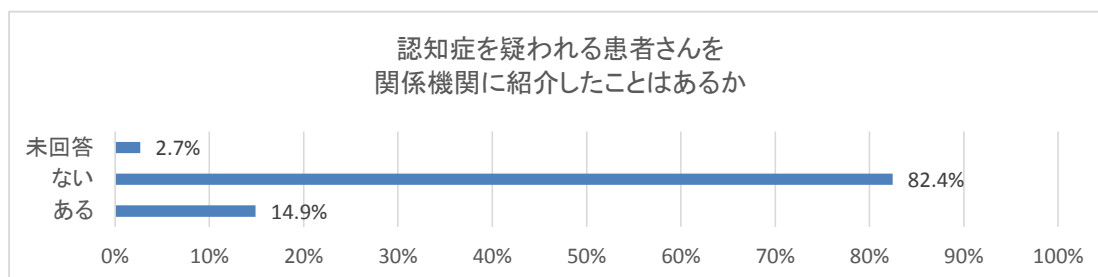
質問16-2 今後、より連携を図っていききたいと思う職種はどれですか。(複数回答可)



連携を図っていききたい職種は医師151(80.3%)、ケアマネ120(63.8%)、地域包括支援センター103(54.8%)であった。

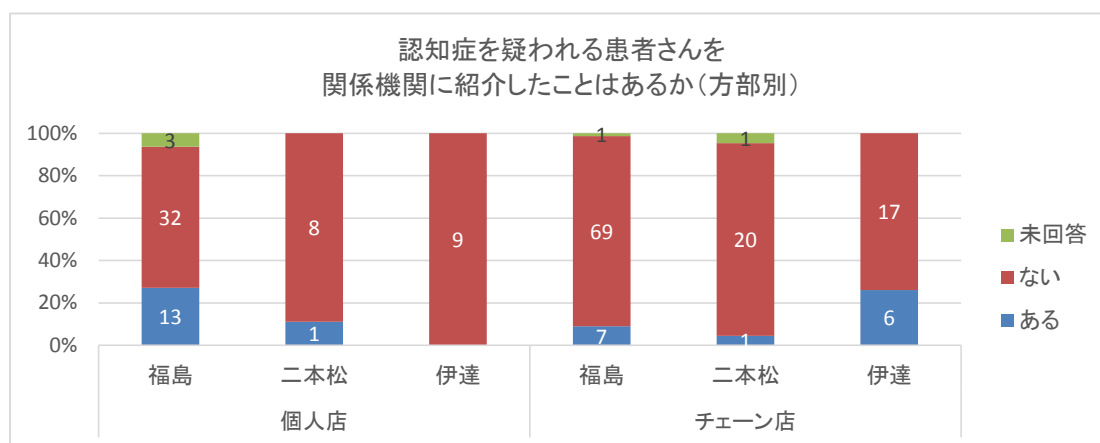
質問17 認知症を疑われる患者さんを関係機関に紹介したことはありますか。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
ある	14	21.2%	14	11.5%	28	14.9%
ない	49	74.2%	106	86.9%	155	82.4%
未回答	3	4.5%	2	1.6%	5	2.7%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%



<方部別>

	ある	ない	未回答	総計
個人店	14	49	3	66
福島	13	32	3	48
二本松	1	8		9
伊達		9		9
チェーン店	14	106	2	122
福島	7	69	1	77
二本松	1	20	1	22
伊達	6	17		23
総計	28	155	5	188



認知症を疑われる患者さんを「関係機関に紹介した」と回答した薬局は28(14.9%)であった。

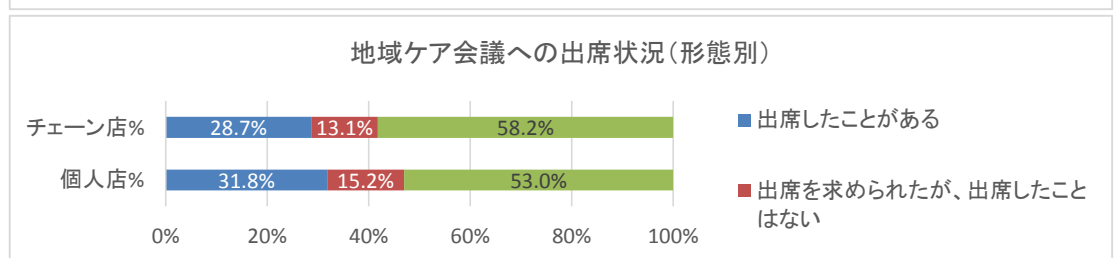
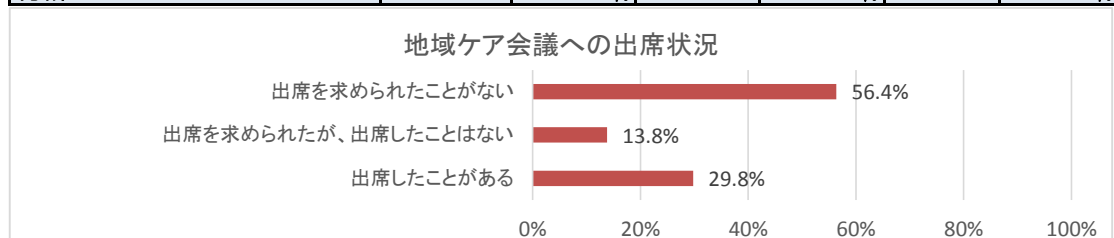
「ある」と回答の場合、具体的事例

- ・地域包括センターへ情報提供した。
- ・薬の管理が出来なくなった方の相談時、家族に認知症の症状を説明し、早めの治療の方が効果が望めることを説明した。またこの病院に行けばよいかとの質問に、専門医を紹介した。
- ・服用コンプライアンスが不良の方について、病院薬剤部に報告書を提出した。その家族に、検査を受けることの必要性を説明した。
- ・投薬時に、認知機能の低下が疑われる患者については、ドクターへ情報提供を行い、次回以降の診察においてHDS-R等の検査を行ってもらうようにしている。
- ・精神科に通っておられる患者さんに精神科の薬が処方されたことから、色々と症状を伺い、専門の病院も受診するようにすすめた。
- ・家族と連携した。一緒に受診を促した。
- ・投薬時、薬が余る、お金が数えられない等の訴えから判断し、医療機関へ紹介した。
- ・定期の薬を渡している時に「忘れ物が最近あるので認知症が心配」と話していた方がおり、主治医にも相談の上で認知症外来の受診をすすめた。
- ・家事の仕方が分からなくなった等の訴えから判断し、地域包括支援センターへ連絡し、訪問をお願いした。
- ・家族からどのように受診させたらよいのかと相談を受け、受診勧奨した。
- ・「薬がない」と相談の電話があったため、自宅を訪問し話を聞くと薬をどこかにしまい忘れており、一緒に探した事例があった。
- ・本人は医師の前では認知症の素振りを全く見せないの、受診時に医師に話すよう同行の方に進言した。
- ・地域包括支援センターへ情報提供と見守りを依頼したところ、数日前に同一人物について別の情報提供があったと教えてもらった。後日、地域包括支援センター職員が自宅に訪問し、家族と交えて会話をしたところ、家族がケースの認知症に気づき、家族からのバックアップを得られるようになった。
- ・家族から認知症初期の相談があり、医療機関を紹介した。
- ・当薬局を利用されている患者さんで、服薬コンプライアンスが不良となる、会計での支払いが通常でなくなる、薬剤師や事務職員との会話がちぐはぐになる、薬局内でそわそわと落ち着かないなどの行動がみられ、その内容を文章化して地域包括支援センターに紹介した。これまでに5例ある。
- ・薬ののみ方がわからなくなってきたり、残薬が多くなってきた時、地域包括支援センターなどに相談している。
- ・「もの忘れ外来」があるクリニックを紹介した。
- ・地域包括センターに連絡し対応してもらった。家族からの相談には、主治医に相談すること、専門外来がある医療機関に相談することを提案した。
- ・「体育館」に行きたいが道に迷ったと言う方と薬局前で出会った。話がはっきりせず、自転車のかごにデイサービスに持って行くらしいものを持っていることが分かったため、いったん自宅へ戻ってもらうことにした。認知症を疑い、地域包括支援センターへ連絡した。センターでは本人の無事の帰宅を確認してくれた。

質問18 地域ケア会議への出席状況について教えてください。

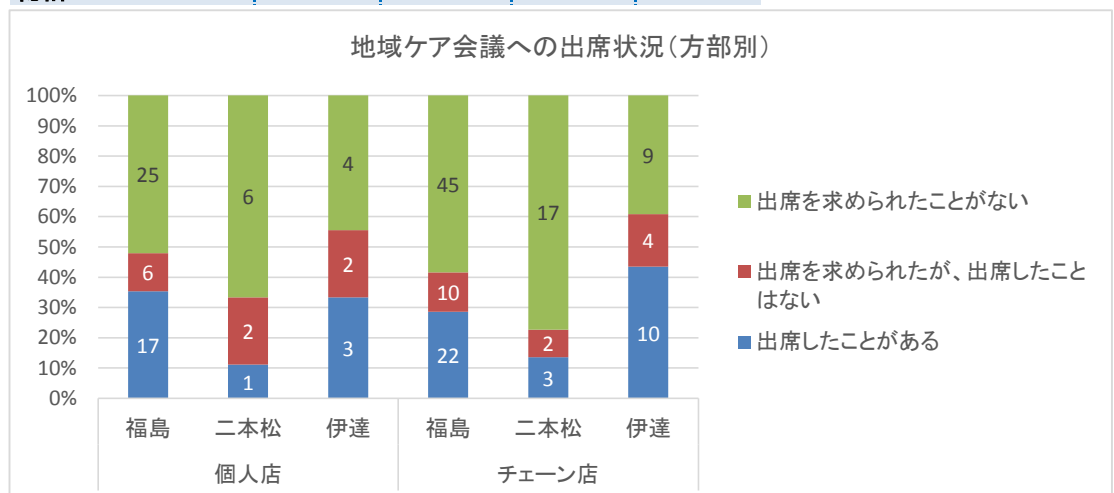
地域ケア会議とは、地域包括ケア実現のため、地域の支援者を含めた多職種による専門的視点を交えて、個別ケースの課題分析等を通じて地域課題を発見し、地域に必要な資源開発や地域づくり、介護保険事業計画への反映などの政策形成につなげることを目指すもの。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
出席したことがある	21	31.8%	35	28.7%	56	29.8%
出席を求められたが、出席したことはない	10	15.2%	16	13.1%	26	13.8%
出席を求められたことがない	35	53.0%	71	58.2%	106	56.4%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%



<方部別>

	出席したことがある	出席を求められたが、出席したことはない	出席を求められたことがない	総計
個人店	21	10	35	66
福島	17	6	25	48
二本松	1	2	6	9
伊達	3	2	4	9
チェーン店	35	16	71	122
福島	22	10	45	77
二本松	3	2	17	22
伊達	10	4	9	23
総計	56	26	106	188

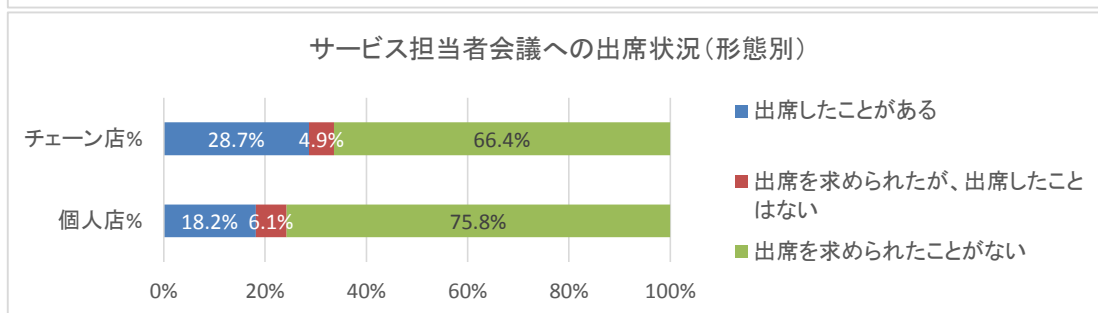
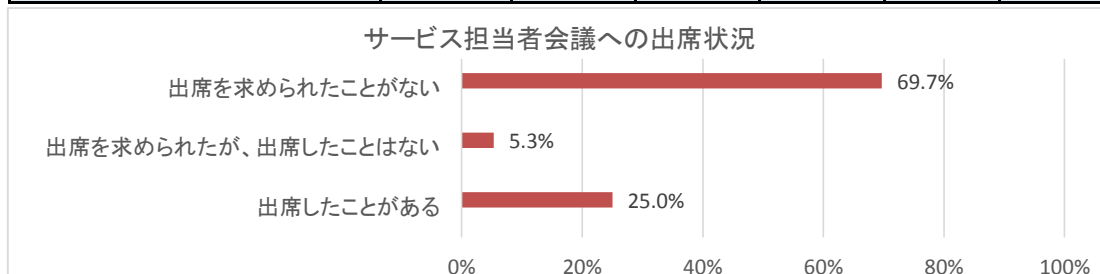


地域ケア会議に「出席したことがある」と回答した薬局は56(29.8%)、「出席を求められたが出席したことはない」と回答した薬局は26(13.8%)、合わせると69.8%であった。
「出席を求められたことはない」と回答した薬局は106(56.4%)と過半数であった。

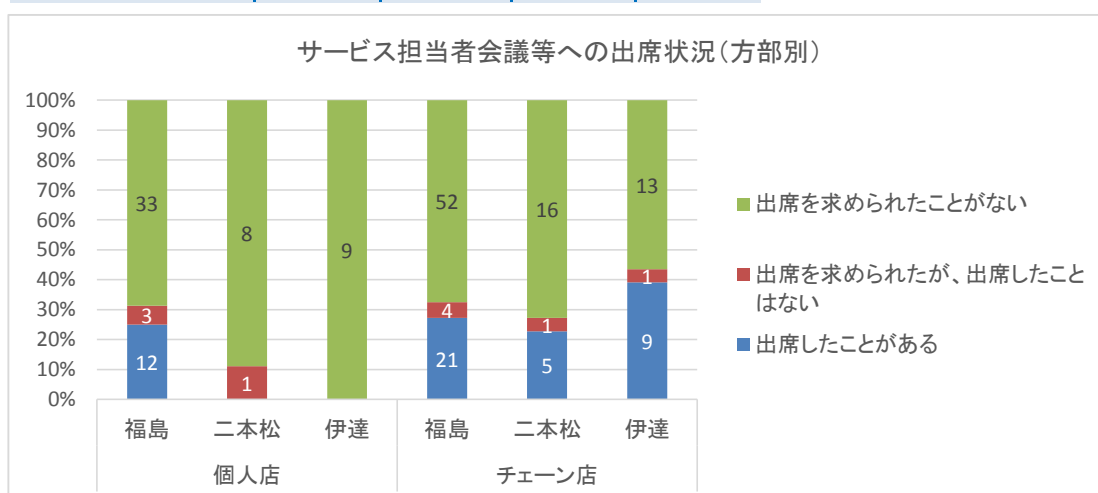
質問19-1 サービス担当者会議等への出席状況について教えてください。

サービス担当者会議等とは、介護支援専門員が、居宅サービス計画作成のために利用者及びその家族の参加を基本としつつ、居宅サービス計画の原案に位置付けた指定居宅サービス等の担当者を招集して行う会議のこと。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
出席したことがある	12	18.2%	35	28.7%	47	25.0%
出席を求められたが、出席したことはない	4	6.1%	6	4.9%	10	5.3%
出席を求められたことがない	50	75.8%	81	66.4%	131	69.7%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%

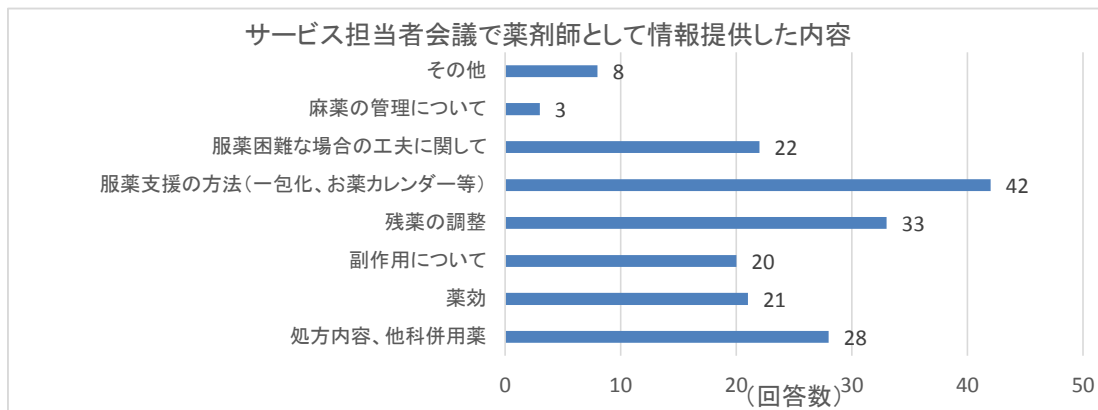


	出席したことがある	出席を求められたが、出席したことはない	出席を求められたことがない	総計
個人店	12	4	50	66
福島	12	3	33	48
二本松		1	8	9
伊達			9	9
チェーン店	35	6	81	122
福島	21	4	52	77
二本松	5	1	16	22
伊達	9	1	13	23
総計	47	10	131	188



サービス担当者が会議への出席について、「出席したことがある」と回答した薬局は47(25.0%)、「出席を求められたが出席したことはない」と回答した薬局は10(5.3%)、合わせると28.3%であった。
「出席を求められたことはない」と回答した薬局は131(69.7%)であった。

質問19-2 ◆質問19-1で「1 出席したことがある」と答えた方は、サービス担当者会議で薬剤師として情報提供した内容について教えてください。(複数回答可)

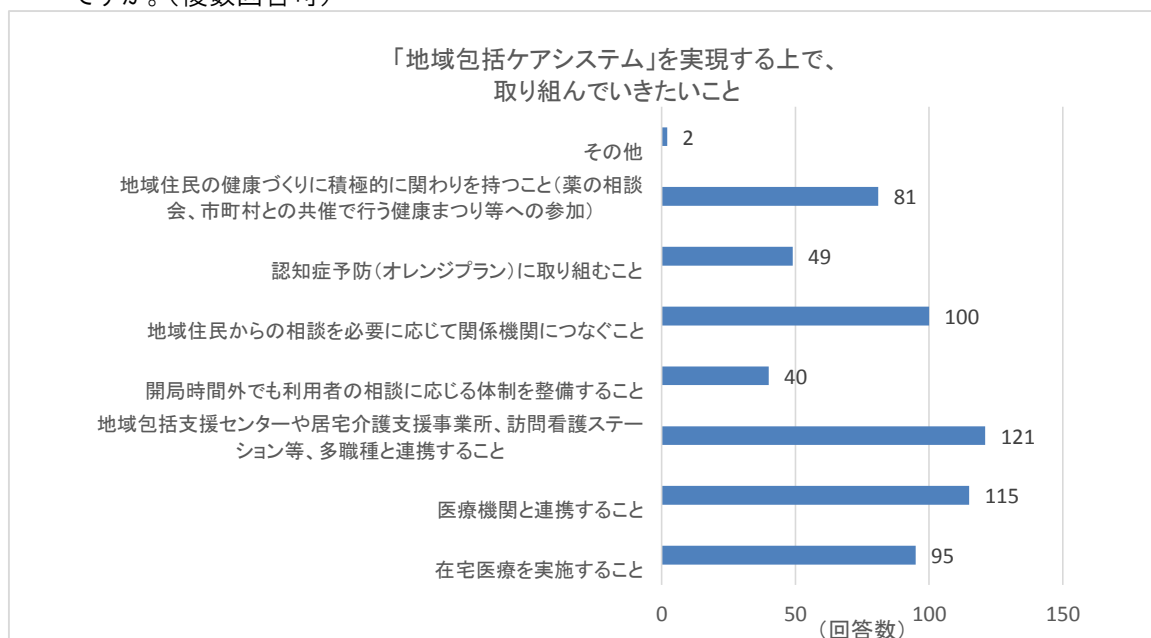


サービス担当者会議で薬剤師として情報提供した内容で最も多かったものは、「服薬支援の方法(一包化、お薬カレンダー等)」が42(23.9%)、次いで「残薬の調整」が33(17.6%)であった。

質問19-3 ◆質問19-1で「2 出席を求められたが、出席したことはない」と答えた方は、その理由を教えてください。

多忙で時間の調整が困難だったため。
一人薬剤師体制の為、依頼を受けた時間が勤務時間だったため。
その日職員が休んでしまい、時間が調整できなかった。
いつ開催しているか分からない。
他職種の方々の都合が合わず開催できないとの連絡を受けたため。

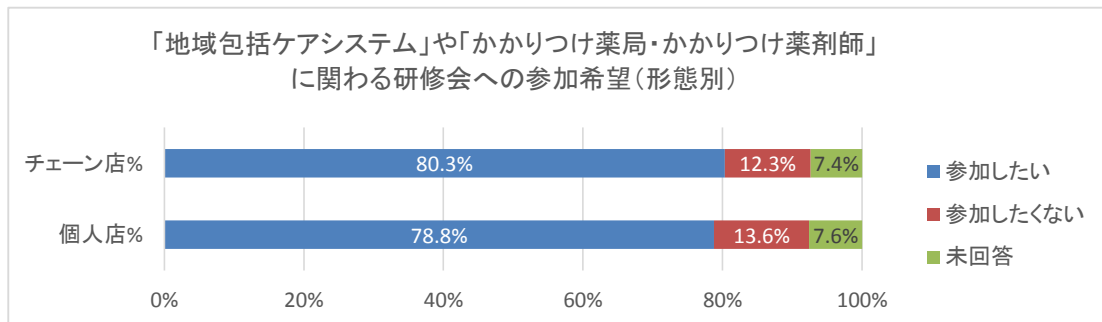
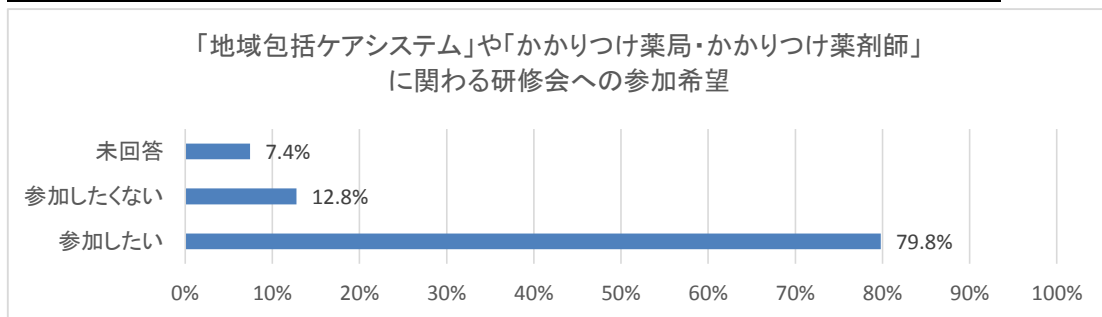
質問20 「地域包括ケアシステム」を実現する上で、貴薬局が取り組んでいきたいことはどのようなことですか。(複数回答可)



「地域包括ケアシステム」を実現する上で取り組んでいきたいこととして最も多かったものは「地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション等、他職種と連携すること」が121(64.3%)、次いで「医療機関と連携すること」が115(61.1%)であった。

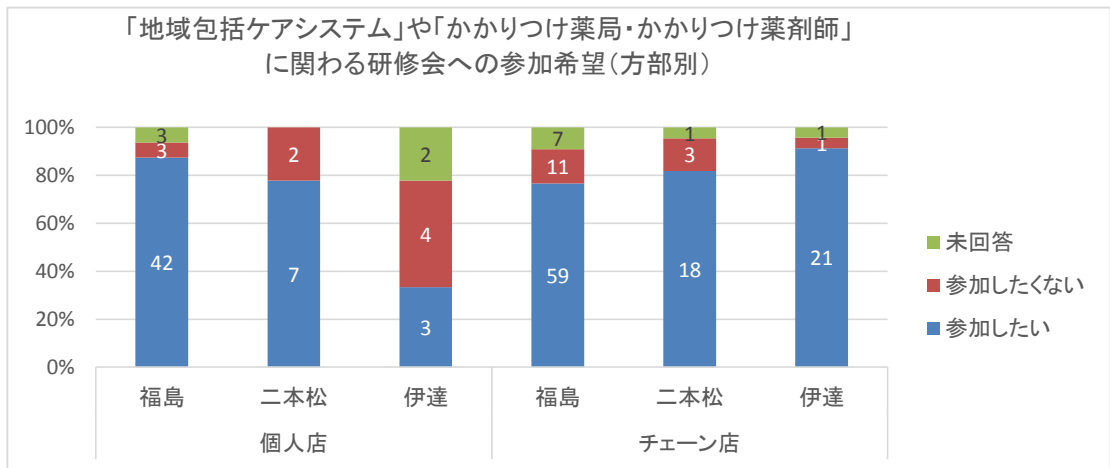
質問21 「地域包括ケアシステム」や「かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師」に関わる研修会があれば参加してみたいですか。

	個人店	個人店%	チェーン店	チェーン店%	全体	全体%
参加したい	52	78.8%	98	80.3%	150	79.8%
参加したくない	9	13.6%	15	12.3%	24	12.8%
未回答	5	7.6%	9	7.4%	14	7.4%
総計	66	100.0%	122	100.0%	188	100.0%



<方部別>

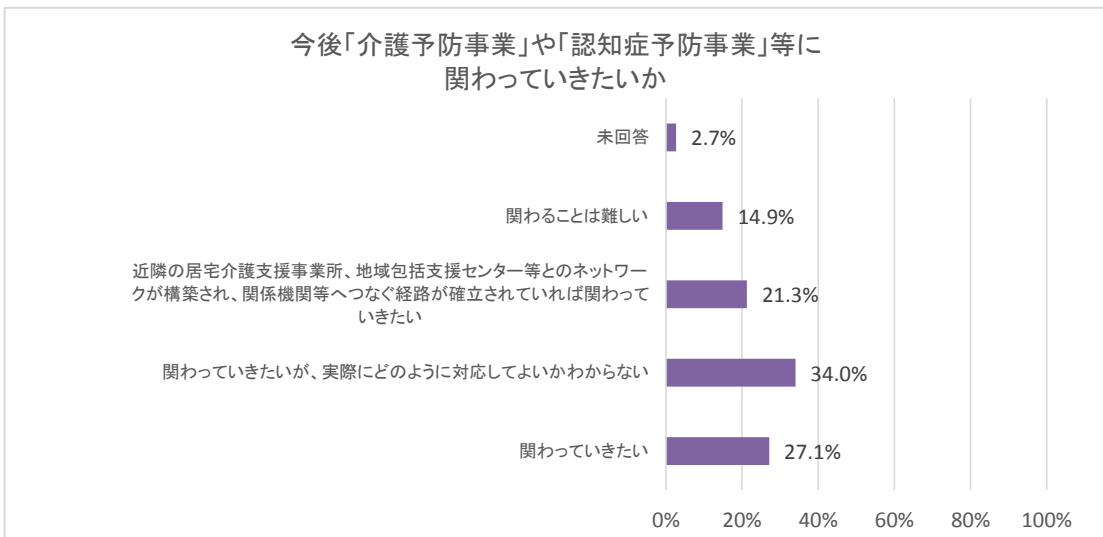
	参加したい	参加したくない	未回答	総計
個人店	52	9	5	66
福島	42	3	3	48
二本松	7	2		9
伊達	3	4	2	9
チェーン店	98	15	9	122
福島	59	11	7	77
二本松	18	3	1	22
伊達	21	1	1	23
総計	150	24	14	188



「地域包括ケアシステム」や「かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師」に関わる研修会について、「参加したい」と回答した薬局は150か所(79.8%)であった。また、「参加したくない」と回答した薬局は24(12.8%)だった。

質問22-1 「地域のかかりつけ薬局」として、今後「介護予防事業」や「認知症予防事業」等に関わっていきたいと思いますか。

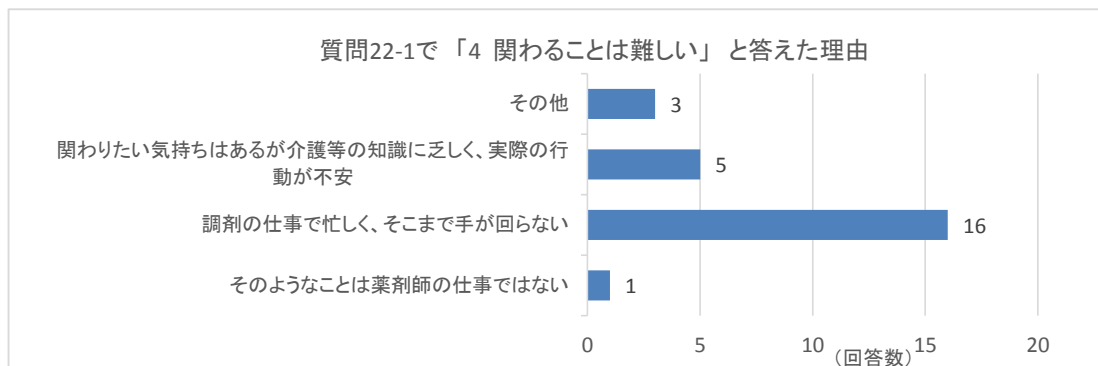
関わっていきたい	51	27.1%
関わっていきたいが、実際にどのように対応してよいかわからない	64	34.0%
近隣の居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等とのネットワークが構築され、関係機関等へつなぐ経路が確立されていれば関わっていきたい	40	21.3%
関わることは難しい	28	14.9%
未回答	5	2.7%
総計	188	100.0%



「地域包括ケアシステム」や「かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師」に関わる研修会について、「参加したい」と回答した薬局は150か所(79.8%)であった。また、「参加したくない」と回答した薬局は24(12.8%)であった。

質問22-2 ◆質問22-1で「4 関わることは難しい」と答えた方は、その理由を教えてください。

そのようなことは薬剤師の仕事ではない	1	3.6%
関心がない	16	57.1%
調剤の仕事で忙しく、そこまで手が回らない	5	17.9%
関わりたい気持ちはあるが介護等の知識に乏しく、実際の行動が不安	3	10.7%
その他	0	0.0%
未回答	3	10.7%
総計	28	100.0%



「地域のかかりつけ薬局」として、今後「介護予防事業」や「認知症予防事業」等に関わっていくことについて、「関わることは難しい」と回答した薬局の理由は、「調剤の仕事で忙しく、そこまで手が回らない」と回答した薬局が最も多く、16(57.1%)であった。

質問23 在宅医療に関する意見(課題に感じていること/必要としている情報等)をお聞かせください。

在宅医療を開始するにあたって、マンパワーの不足が顕著となっている。また、会社としてのシステム構築が不十分であり、在宅医療への参入の仕方や、それに伴う24時間体制の確保等にどう対応していけばよいかが判断できない。

多職種との情報交流会等の機会がより増えて欲しい。お互いの仕事をより深い所で理解しあい、連携することによってより、地域に対し新たな医療スタイルを構築できるのではないかと考えた。

訪問薬剤管理業務については、医師から指示があれば実施が可能です。しかしながら医師からの情報が少ない状態で訪問するケースもあります。適切な業務のために、患者のサマリー、退院時情報提供書、バイタルを含む情報提供があるのとないのとでは対応がかなり変わってきます。また、毎月のケア計画書があれば、いつ自宅にいるのか、施設にいるのかが把握できるとともに、多職種の方と連携をとるために、スケジュールを合わせて情報交換などもできるようになります。ぜひご検討ください。

当薬局では、在宅医療に積極的に携わりたいと考えております。現在その実績がまだなく、どのように始めればよいかを模索している段階です。地域連携できる、在宅医療の事例を学べるような研修があるとありがたいです。

(回答の一部を抜粋)